

工 事 番 号							
設計年度	令和3年度		橋梁補修工事（市道田野浦3号線 1号橋梁外1橋） 社会資本整備交付金事業 三原市 田野浦二丁目外				
施工月日	令和	年 月 日					
施工方法	請 負						
工事期間							
工 事 概 要			起 工 理 由				
橋梁補修工事 N=2橋 断面修復工 0.619m3 ひび割れ注入工 16.4m 表面含浸工 146m2 塗替塗装工（鋳桁） 26m2							

交付金

仕 様 書

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
橋梁保全工事		式	1	レベル1
橋梁補修工		式	1	レベル2
ひび割れ補修工		式	1	レベル3
低圧注入工法	【ポリマー超微粒子セメント系】	構造物	1	レベル4
断面修復工		式	1	レベル3
左官工法	【修復深さ d=5cm】	構造物	1	レベル4
表面被覆工		式	1	レベル3
下地処理		m2	42	レベル4
表面含浸工	【反応型ケイ酸塩系表面含浸材】	m2	42	レベル4
水切設置工		式	1	レベル3
水切設置工		m	12	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
運搬処理工		式	1	レベル3
殻運搬	【コンクリート殻】	m3	0.5	レベル4
殻処分	【コンクリート殻】	m3	0.5	レベル4
現場塗装工		式	1	レベル2
道路付属構造物塗装工		式	1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
素地調整	防護柵類	m2	5	レベル4
下塗	フェノール樹脂MI0塗装 下塗 淡彩	m2	5	レベル4
中塗	長油性フタル酸樹脂塗料 中塗 白色	m2	5	レベル4
上塗	長油性フタル酸樹脂塗料 上塗 白色	m2	5	レベル4
舗装工		式	1	レベル2
舗装打換え工		式	1	レベル3
舗装版切断	【アスファルト舗装版】	式	1	レベル4
舗装版破碎(小規模)	【アスファルト舗装版】	m2	1	レベル4
殻運搬	【アスファルト殻】	m3	0.2	レベル4
殻処分	【アスファルト殻】	m3	0.2	レベル4
上層路盤	【全仕上り厚30mm】	m2	1	レベル4
表層	【平均幅員1.4m未満】	m2	1	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
足場工		式	1	レベル3
足場	【吊足場】	m2	26	レベル4
全工種共通仮設		式	1	レベル1
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位		数量	備考
交通誘導警備員		人		18	レベル4
** 直接工事費 **					
共通仮設費率分					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費					
** 工事原価 **					
一般管理費率分					
契約保証費					
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 **					
** 工事費計 **					
** 契約保証費計 **					

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
本工事費				
橋梁保全工事		式	1	レベル1
橋梁補修工		式	1	レベル2
ひび割れ補修工		式	1	レベル3
低圧注入工法	【ポリマー超微粒子セメント系】	構造物	1	レベル4
断面修復工		式	1	レベル3
左官工法	【修復深さ d=5cm】	構造物	1	レベル4
表面被覆工		式	1	レベル3
下地処理		m2	104	レベル4
表面含浸工	【反応型ケイ酸塩系表面含浸材】	m2	104	レベル4
橋梁塗装工		式	1	レベル3
塗膜撤去工		m2	26	レベル4
素地調整	清掃・3種ケレン	m2	26	レベル4
下塗り	弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 はけ・ローラー塗	m2	26	レベル4
中塗り	弱溶剤形変性ふっ素樹脂塗料 はけ・ローラー塗	m2	26	レベル4
上塗り	弱溶剤形変性ふっ素樹脂塗料 はけ・ローラー塗	m2	26	レベル4
構造物撤去工		式	1	レベル2
運搬処理工		式	1	レベル3

工事数量総括表

費目・工種明細など	規格1・規格2	単位	数量	備考
殻運搬	【コンクリート殻】	m3	0.1	レベル4
殻処分	【コンクリート殻】	m3	0.1	レベル4
仮設工		式	1	レベル2
足場工		式	1	レベル3
足場	【吊足場】	m2	65	レベル4
全工種共通仮設		式	1	レベル1
仮設工		式	1	レベル2
交通管理工		式	1	レベル3
交通誘導警備員		人	8	レベル4
直接工事費				
共通仮設費率分				
共通仮設費計				
純工事費				
現場管理費				
工事原価				
一般管理費率分				
契約保証費				
一般管理費計				

特記仕様書

第1章 総則 第1節 適用

- 1 本特記仕様書は、三原市田野浦二丁目外 橋梁補修工事（市道田野浦3号線 1号橋梁外1橋）に適用する。
- 2 本特記仕様書に記載のない事項については、次によるものとする。

・ **土木工事共通仕様書（令和3年8月）広島版**
※ 土木工事共通仕様書は「広島県の調達情報」に掲載している。

<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/>

・ その他関連規格類

第2節 情報共有システム

- 1 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、運用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に基づき実施すること。
- 2 本工事で使用する情報共有システムは次とする。
広島県工事中情報共有システム
<https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/asp/index.html>
- 3 監督員及び受注者が使用する情報共有サービスのサービス提供者（以下「サービス提供者」という。）との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
- 4 なお、工事完成時については、提出する必要のある工事成果品を電子納品すること。また、試行期間中は工事検査を紙媒体で受検することから、受注者は、工事成果品1部を紙媒体により提出すること。
- 5 受注者は、監督員及びサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。

第2章 施工条件 第1節 工程

- 1 施工時期・時間の制限
施工内容 工事全般
時期 全工事期間
時間 調整による
施工方法・理由 工事箇所が生活道路であるため、調整を十分に行い理解を得たうえで施工を行うこと。

第2節 用地

- 1 現場の復旧
原形復旧とする。

第3節 安全対策

- 1 交通誘導員・警戒船・保安要員
車道上の作業期間中、交通誘導員を2（人／日）見込んでいる。

第4節 工事用道路

- | | | |
|---|----------|--------------------------------------------------------|
| 1 | 一般道路 | |
| | 使用期間 | 工事施工期間 |
| | 使用時間 | 8時～17時 |
| | 工事中・後の処置 | 随時 清掃, 工事後 舗装欠損部補修 (工事前・後の写真により監督員と協議すること。設計変更の対象とする。) |

第5節 建設副産物

1 産業廃棄物の場外保管

当該工事により発生する産業廃棄物を事業場の外（建設工事現場以外の場所）において300m²以上の面積で保管する場合には、保管場所を所管する都道府県知事又は政令市長に事前の届出を行うこと。また、届出事項を変更する場合は事前に変更届を、保管をやめたときは30日以内に廃止届を提出すること。ただし、産業廃棄物処理業等の許可施設における保管は届出対象外とする。

第6節 その他

1 工事用機資材の仮置き

場所 受注者が責任をもって確保すること。

2 各補修工の事前調査

1) 受注者は、橋梁洗浄後に補修図をもとに詳細計測を行い、補修内容について発注者と協議を行った後、施工を行うこと。

3 有害物質を含む塗膜等の処分

1) 受注者は、工事に伴って有害物質を含む塗膜が検出された場合は、特別管理産業廃棄物として適切に処理しなければならない。
なお、処分費については変更の対象とする。

第3章 設計金額

第1節 排出ガス対策型建設機械の使用促進

土木工事共通仕様書（令和3年8月）『1-1-31 環境対策』で使用を義務付けている排出ガス対策型建設機械においては、排出ガス対策型（第2次基準値）以上の建設機械の使用に努めること。

なお、使用する排出ガス対策型建設機械について、基準値による設計変更は行わない。

第4章 施工箇所が点在する工事の積算

本案件は、施工箇所が点在する工事の適正な工事価格を算出するため、参考図書に示す工事箇所と施工箇所を基に次の算定方法とする。

算定方法

(1) 工事原価

ア 直接工事費

施工数量及び施工規模等は工事箇所ごとに判断し、施工箇所ごとに直接工事費を算定する。

イ 間接工事費

(ア) 共通仮設費

a 共通仮設費の率分

対象額は工事箇所ごとに算定し、工種区分はその工事箇所の主たるものを適用する。

b 共通仮設費率の補正

工事箇所ごとに施工地域及び工事場所区分の補正を行う。

c 積上げ計算による部分

施工箇所ごとに必要な経費を積上げる。

(イ) 現場管理費

a 現場管理費の算定

対象とする純工事費は工事箇所ごとに算定する。

b 現場管理費率の補正

工事箇所ごとに施工時期、工事期間、施工地域及び工事場所区分の補正を行う。

(ウ) 中止期間中の現場維持費等の費用

a 積上げ項目

施工箇所ごとに必要な経費を積上げる。

b 率で計上する項目

対象額及び一時中止日数は施工箇所ごとに算定する。

(2) 一般管理費等

ア 一般管理費等の算定

対象とする工事原価は(1)の計による。

なお、処分費等が「共通仮設費対象額(P) + 準備費に含まれる処分費」に占める割合の3%を超える場合又は処分費等が3千万円を超える場合、率計算の対象については、工事箇所ごとに対象額を算出する。

第5章 工事保険等

第1節 法定外の労災保険の付保

1 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

2 受注者は、建設工事請負契約約款第54条に基づき、法定外の労災保険の契約締結したときは、その証券又はこれに代わるものを速やかに監督職員に提示しなければならない。

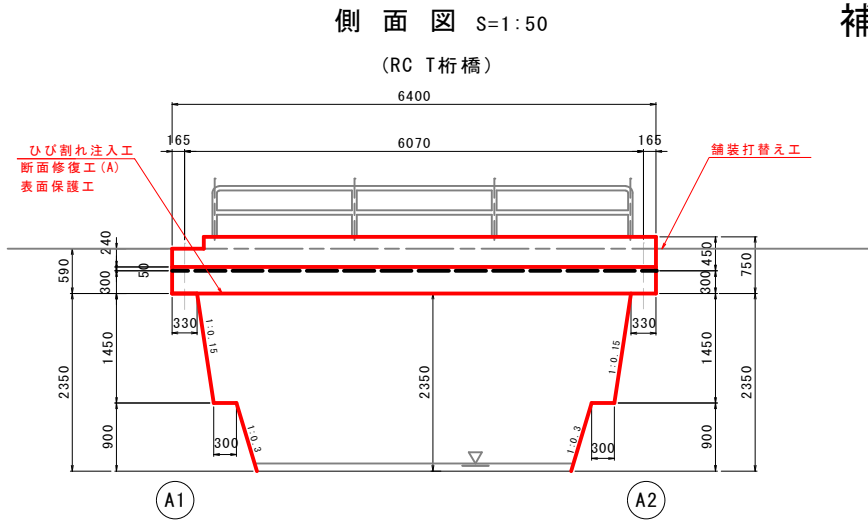
3 法定外の労災保険は、政府の労働災害補償保険とは別に上乘せ給付等を行うことを目的とするものであり、(公財)建設業福祉共済団、(一社)建設業労災互助会、全日本火災共済協同組合連合会、(一社)全国労働保険事務組合連合会又は保険会社との間で、労働者災害補償保険法に基づいて契約を締結しているものとする。

第6章 その他

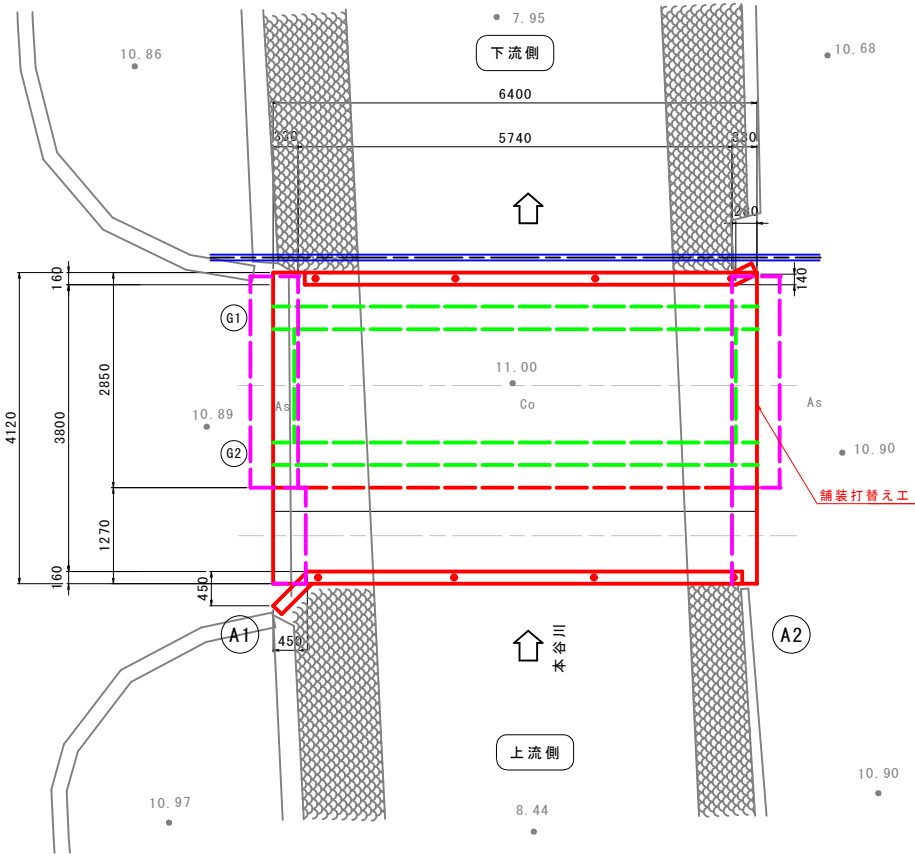
本特記仕様書及び設計図書に明示していない事項または、その内容に疑義が生じた場合は、監督員の指示を受けること。

図面番号	1-1	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事		
種別	田野浦3号線1号橋梁	番号	
路線名	市道 田野浦3号線		
工事箇所	三原市 田野浦二丁目		
三原市			

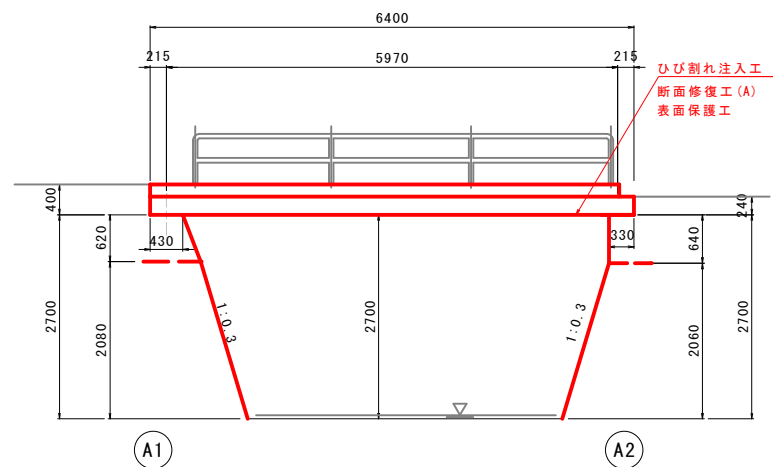
補修一般図



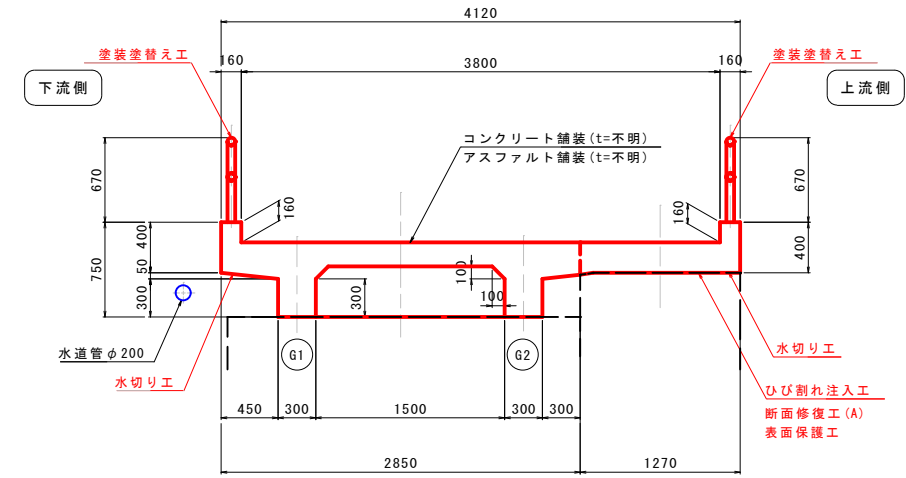
平面図 S=1:50



側面図 S=1:50
(床版橋)

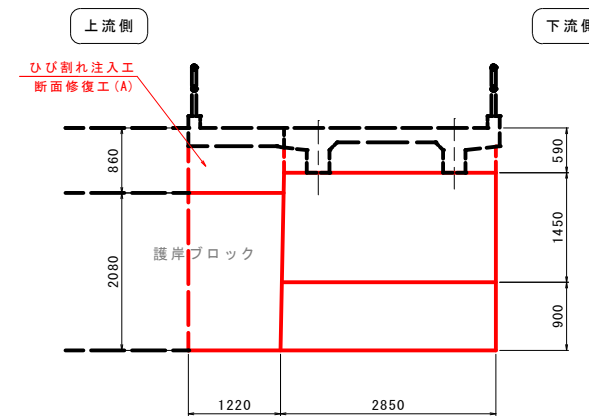


標準断面図 S=1:30

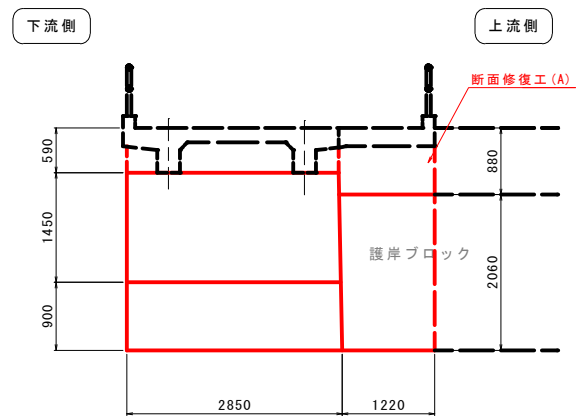


下部工正面図 S=1:50

A1橋台



A2橋台



橋梁補修一覧表

工種	内容	対象部材
ひびわれ注入工	ひびわれ内に注入器具を使用し低圧にて微粒子ポリマーセメントを注入する。	地覆・A1橋台
断面修復工(A)	鉄筋露出部を防錆処理後、ポリマーセメントモルタルで修復を行う。	床版・主桁 A1, A2橋台
水切り工	床版上下流端部に、軟質PVCを施工する。	床版
表面保護工	コンクリートの表面を洗浄後、ケイ酸塩系含浸材を塗布する。	床版・主桁・横桁
塗装打替え工	防護欄に対しRc-Ⅲ塗装仕様にて塗替えを行う。	高欄
舗装打替え工	A2橋台背面の段差(3cm)を解消するため舗装の打替え(すりつけ)を行う。	舗装

注記
 ※1 本図は現地簡易計測結果をもとに作成したものである。
 ※2 施工前に本図をもとに詳細計測を行い、補修材料の仕様・数量等を確定し施工すること。

設計条件	単位	不明
橋格		不明
橋梁形式	上部工	単純RC T桁橋
		単純RC床版橋
	下部工	A1橋台 重力式橋台 護岸橋台
		A2橋台 重力式橋台 護岸橋台
基礎	直接基礎	
橋長	m	6.40
桁長	m	5.74
支間長	m	6.40 ※遊間は視認不可
有効幅員	m	3.80
斜角	度	90°
設計水平震度	kh	不明
使用材料	上部工	$\sigma_{ck}=21N/mm^2$ (※)
設計基準強度	下部工	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$ (※)
竣工年 / (適用方書)	竣工年	1965年 / (不明)

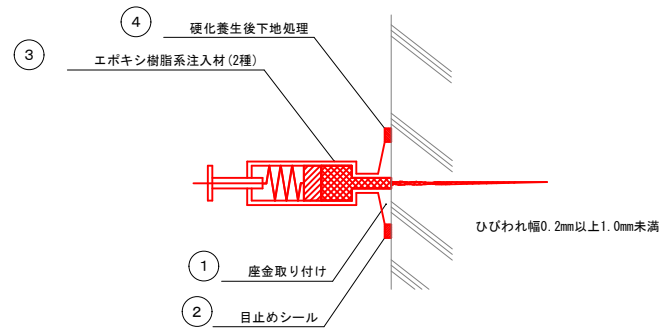
※使用材料、強度は推定。

図面番号	1-2	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事		
種別	田野浦3号線1号橋梁 補修詳細図	番号	
路線名	市道 田野浦3号線		
工事箇所	三原市 田野浦二丁目		
三原市			

補修詳細図 NON-SCALE

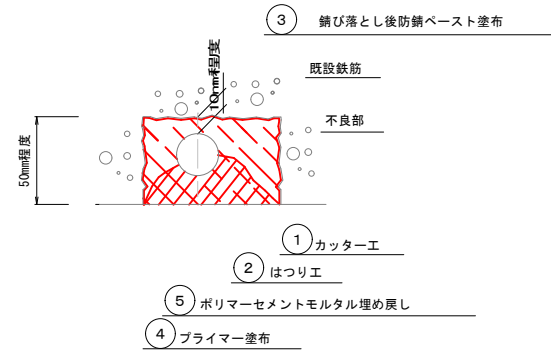
ひびわれ注入工

エポキシ樹脂系注入材(2種)



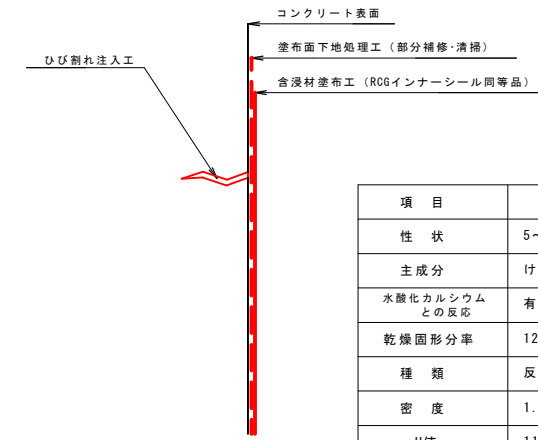
断面修復工A

左官工法(防錆処理含む)
d=5cm



コンクリート 表面保護工 (反応型ケイ酸塩系表面含浸材)

単位 (g)	
	ケイ酸塩系含浸材 (ROGインナーシール同等品)
標準塗布量	220
※1㎡あたりの標準塗布量	



項目	目標値
性状	5~150nmのポリシリケートおよび粒子コロイド
主成分	けい酸ナトリウム・けい酸カリウム
水酸化カルシウムとの反応	有
乾燥固形分率	12%以上
種類	反応型けい酸塩系表面含浸材
密度	1.05以上
pH値	11.0以上
色	無色

※ 施工手順

- 1 作業範囲設定(安全を確認するため、作業範囲の確認)
- ↓
- 2 下地補修(大きい破損やクラック等はモルタル等での部分補修)
- ↓
- 3 養生(飛散防止のため養生、ブルーシート・養生シート等)
- ↓
- 4 清掃(低圧・高圧洗浄機や金ブラシ等で、塗布面の汚れを除去清掃)
- ↓
- 5 ケイ酸塩系表面含浸材塗布(標準塗布量220g/㎡を噴霧機やローラー、刷毛などを利用し均等に塗布)
- ↓
- 6 湿潤養生(手で触って多少べとつく程度の湿潤養生を行う(90分程度))
(この間、乾燥が激しい場合は必要に応じて散水する)
- ↓
- 7 養生材撤去(撤去した養生材は必ず指定された場所に廃棄)
- ↓
- 8 場内片付(全工程終了後、監督員・係員に完了検査を受ける)

注記)

1. 中性化及び雨水等の影響を受けないコンクリートの場合、塗布後に炭酸カルシウムが表層部に発生することがあるので、洗浄を行う。
2. 含浸材がガラス等に付着すると除去が困難なため、飛散防止を対策する。
3. 湿潤養生は含浸材塗布後半乾燥状態時に湿潤養生し、90分以上養生する。
4. 含浸材塗布量の管理は厳密に行う。
事前に図面等で材料の塗布量を確認し、現場においてマーキング等を行い管理する。
5. 塗布作業は、基本的に水下から行う。
6. 本材料はコロイドのため凝集するので、利用前には攪拌する。
7. 下地洗浄時には、酸性の薬剤等は利用しない。(中和反応するため)

図面番号	1-3	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事		
種別	田野浦3号線1号橋梁	番号	
路線名	市道 田野浦3号線		
工事箇所	三原市 田野浦二丁目		
三原市			

補修図(1) S=1:30

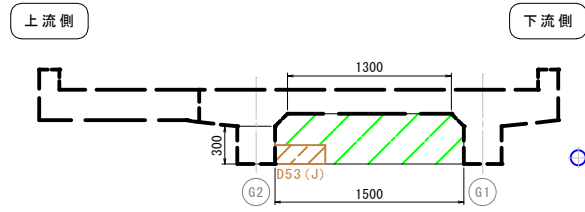
上部工(桁下)

補修工法凡例

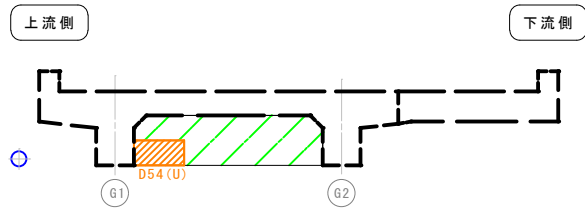
損傷	記号	補修対策工法
コンクリートの浮き、剥離 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工(A)
剥落・鉄筋露出 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工(A)
豆板 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工(A)
変形・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工(A)
変形・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工(B)
コンクリート表面劣化部		表面保護工

注記)
1. 施工に当っては現地計測の上、施工数量を決定の事

起点側端横桁
G2-G1



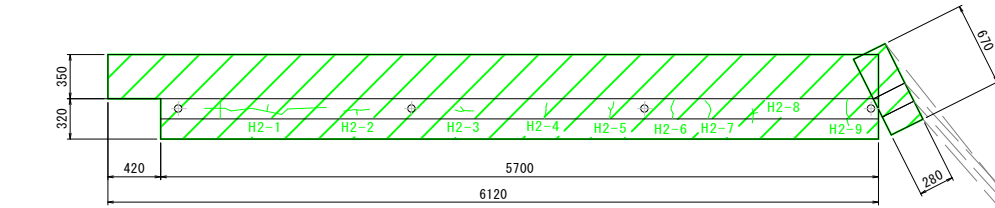
終点側端横桁
G2-G1



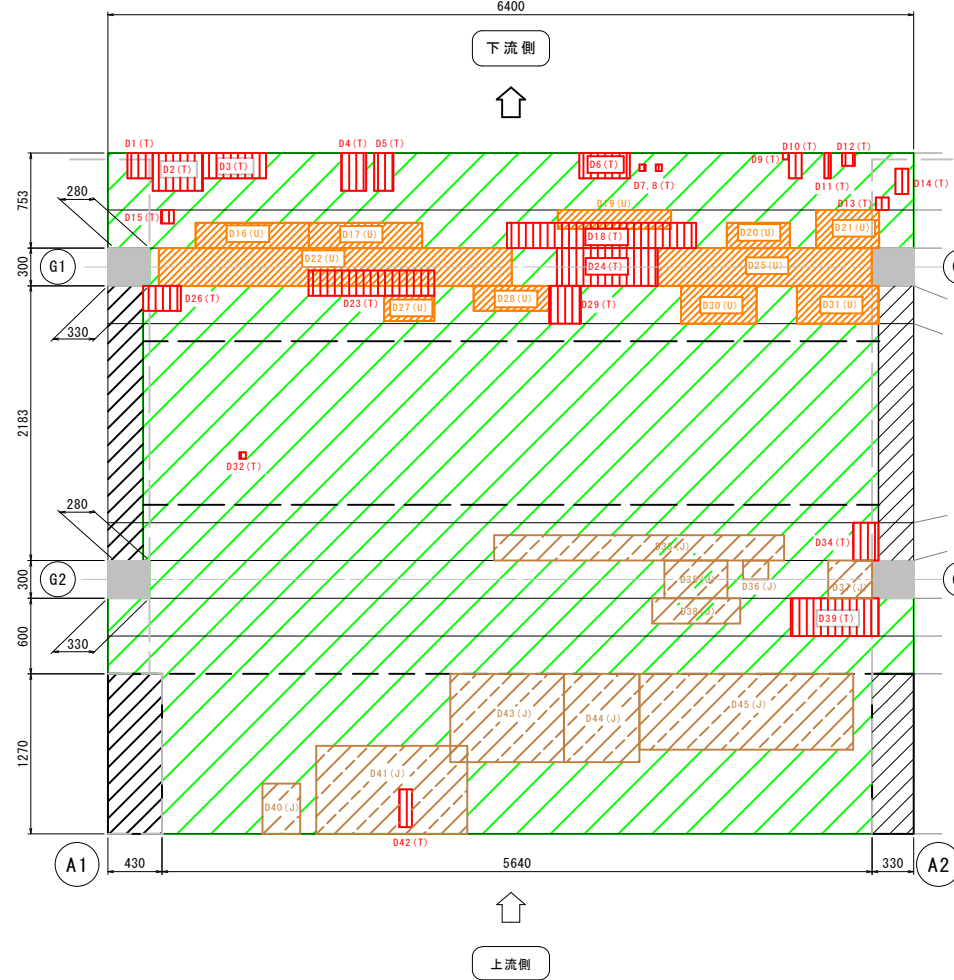
ひびわれ注入工数量表
(ひびわれ幅0.2~0.5mm未満)

測点	寸法(m)
	L(m)
H2-1	1.00
H2-2	0.20
H2-3	0.15
H2-4	0.15
H2-5	0.15
H2-6	0.16
H2-7	0.16
H2-8	0.10
H2-9	0.16
合計	2.23

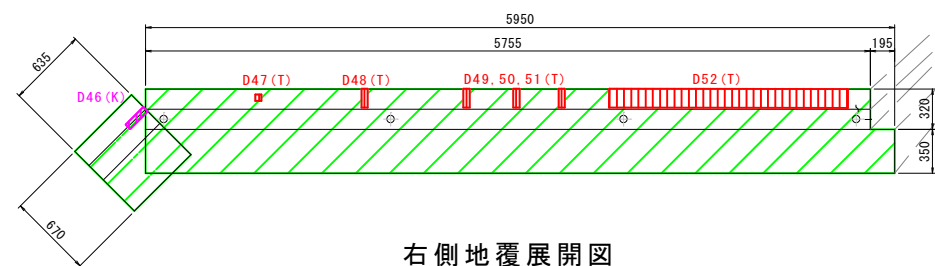
左側地覆展開図



桁下平面図



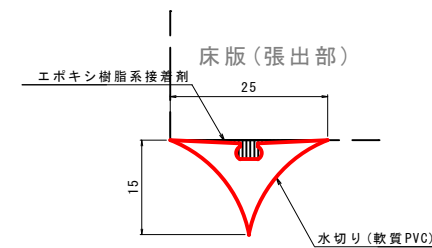
右側地覆展開図



断面修復工(A)数量表(上部工)深さ0.05m

測点	寸法	面積(m ²)	測点	寸法	面積(m ²)
D1(T)	0.20×0.20	0.04	D29(T)	0.30×0.25	0.08
D2(T)	0.40×0.30	0.12	D30(U)	0.60×0.30	0.18
D3(T)	0.50×0.20	0.10	D31(U)	0.65×0.30	0.20
D4(T)	0.20×0.30	0.06	D32(T)	0.05×0.05	0.01
D5(T)	0.15×0.30	0.05	D33(J)	2.30×0.20	0.46
D6(T)	0.40×0.20	0.08	D34(T)	0.20×0.30	0.06
D7(T)	0.05×0.05	0.01	D35(J)	0.50×0.30	0.15
D8(T)	0.05×0.05	0.01	D36(J)	0.20×0.15	0.03
D9(T)	0.05×0.05	0.01	D37(J)	0.35×0.30	0.11
D10(T)	0.10×0.20	0.02	D38(J)	0.70×0.20	0.14
D11(T)	0.05×0.20	0.01	D39(T)	0.70×0.30	0.21
D12(T)	0.10×0.10	0.01	D40(J)	0.30×0.40	0.12
D13(T)	0.10×0.10	0.01	D41(J)	1.20×0.70	0.84
D14(T)	0.10×0.20	0.02	D42(T)	0.10×0.30	0.03
D15(T)	0.10×0.10	0.01	D43(J)	0.90×0.70	0.63
D16(U)	0.90×0.20	0.18	D44(J)	0.60×0.70	0.42
D17(U)	0.90×0.20	0.18	D45(J)	1.70×0.60	1.02
D18(T)	1.50×0.20	0.30	D46(K)	0.20×0.05	0.01
D19(U)	0.90×0.15	0.14	D47(T)	0.05×0.05	0.01
D20(U)	0.50×0.20	0.10	D48(T)	0.15×0.05	0.01
D21(U)	0.50×0.30	0.15	D49(T)	0.15×0.05	0.01
D22(U)	2.80×0.30	0.84	D50(T)	0.15×0.05	0.01
D23(T)	1.00×0.20	0.20	D51(T)	0.15×0.05	0.01
D24(T)	0.80×0.30	0.24	D52(T)	1.90×0.15	0.29
D25(U)	1.70×0.30	0.51	D53(J)	0.40×0.15	0.06
D26(T)	0.20×0.30	0.06	D54(U)	0.40×0.20	0.08
D27(U)	0.40×0.20	0.08	合計		8.84
D28(U)	0.60×0.20	0.12			

水切工詳細図

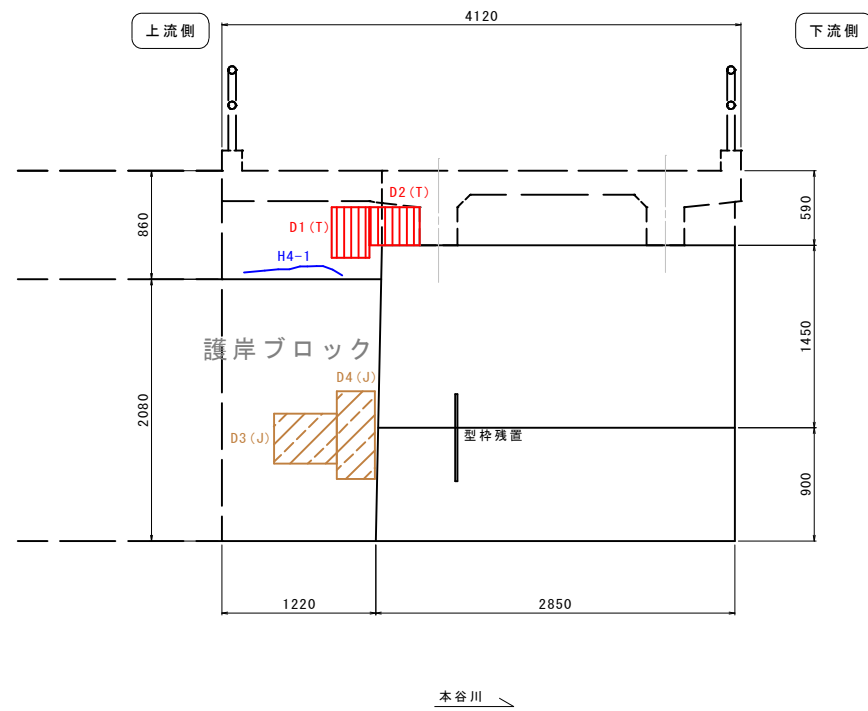


図面番号	1-4	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事		
種別	田野浦3号線1号橋梁	番号	
路線名	市道 田野浦3号線		
工事箇所	三原市 田野浦二丁目		
三原市			

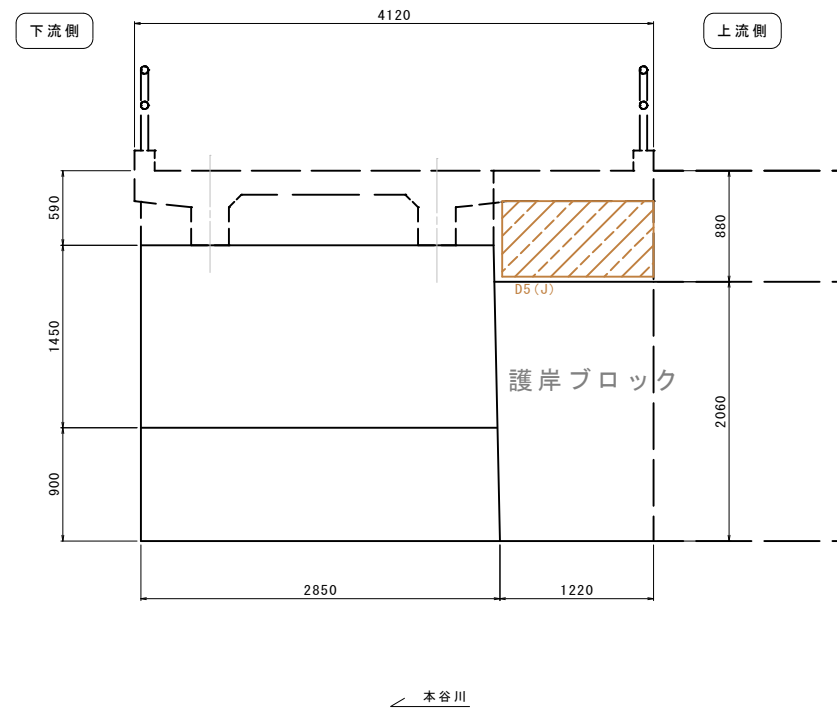
補修図(2) S=1:30

下部工

A1橋台正面図



A2橋台正面図



補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工法
コンクリートの浮き、剥離 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工(A)
剥落・鉄筋露出 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工(A)
豆板 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工(A)
変形・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工(A)
変形・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工(B)
コンクリート表面劣化部		表面保護工

注記)
1. 施工に当たっては現地計測の上、施工数量を決定の事

断面修復工(A)数量表(上部工)深さ0.05m

測点	寸法	面積(m ²)
D1(T)	0.30×0.40	0.12
D2(T)	0.40×0.30	0.12
D3(J)	0.30×0.50	0.15
D4(J)	0.50×0.40	0.20
D5(J)	1.20×0.60	0.72
合計		1.31

ひびわれ注入工数量表 (ひびわれ幅1.0~2.0mm以下)

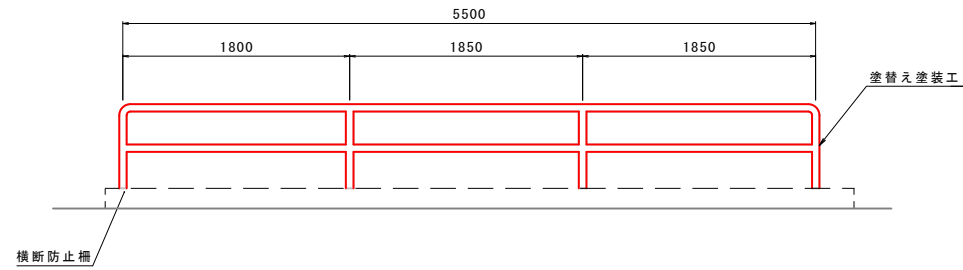
測点	寸法(m)	
	L(m)	
H4-1	0.80	
合計	0.80	

図面番号	1-5	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事		
種別	田野浦3号線1号橋梁	補修図(3)	番号
路線名	市道 田野浦3号線		
工事箇所	三原市 田野浦二丁目		
三原市			

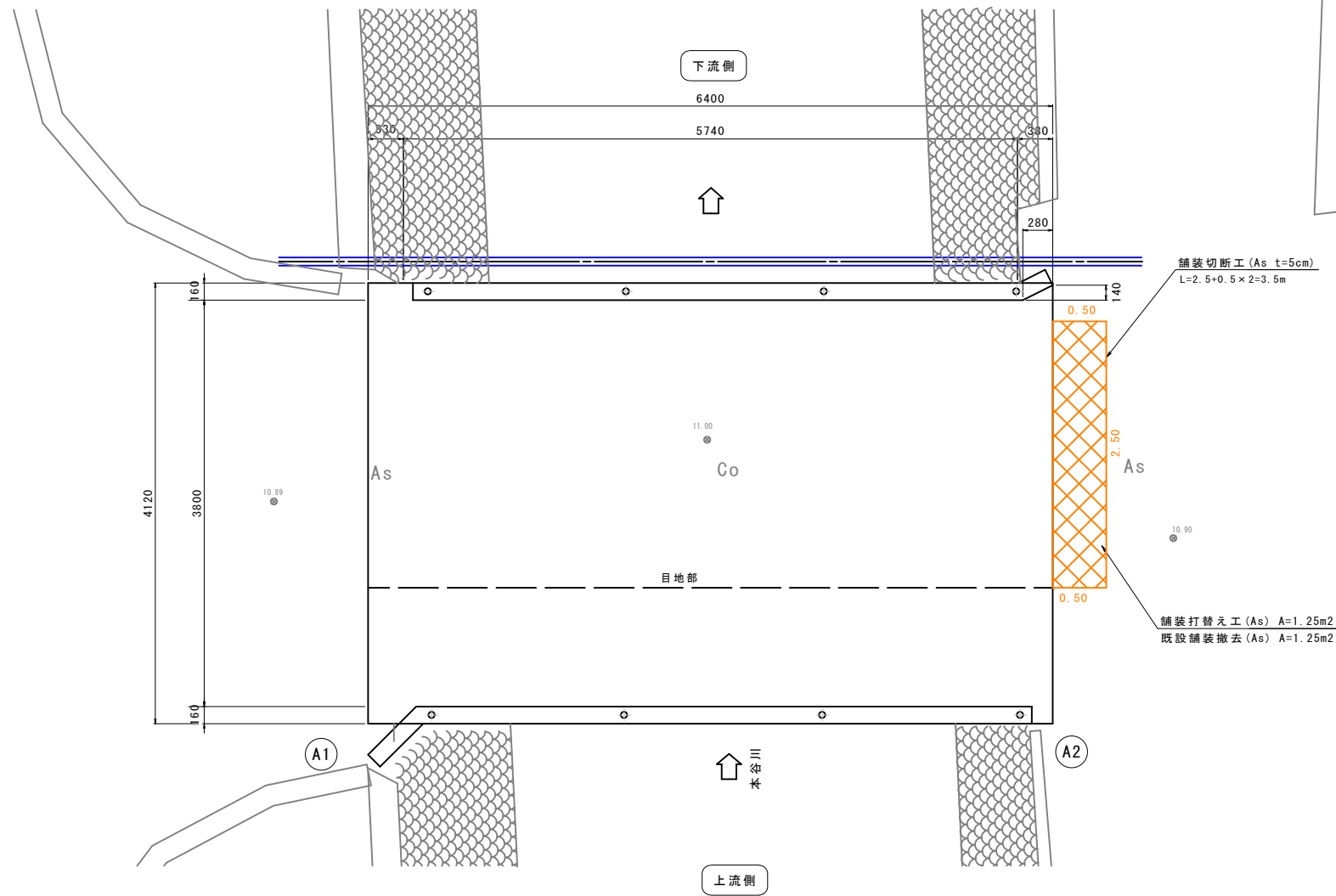
補修図(3) S=1:30

路面

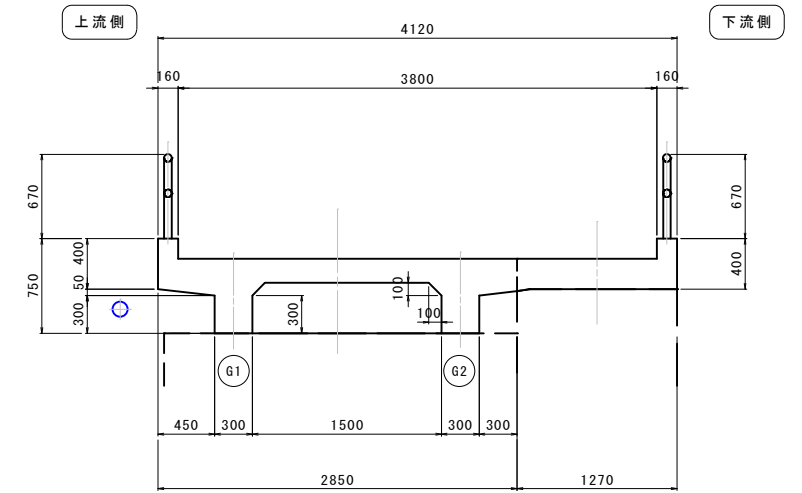
左側高欄正面図



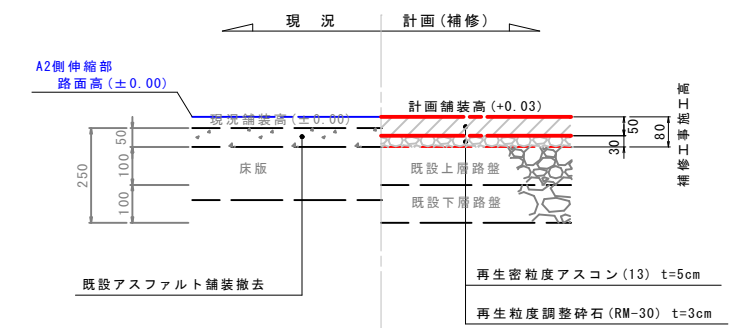
平面図



標準断面図



舗装打替え工 (A2橋台背面)



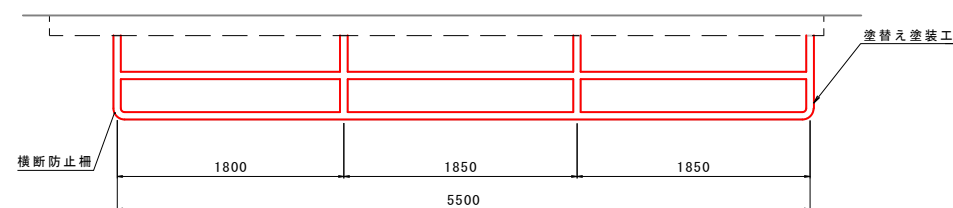
補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工法
アスファルト舗装の劣化・損傷	[Cross-hatch pattern]	舗装打替え工
高欄の腐食・防食機能の劣化	[Red diagonal lines]	塗替え塗装工

注記)

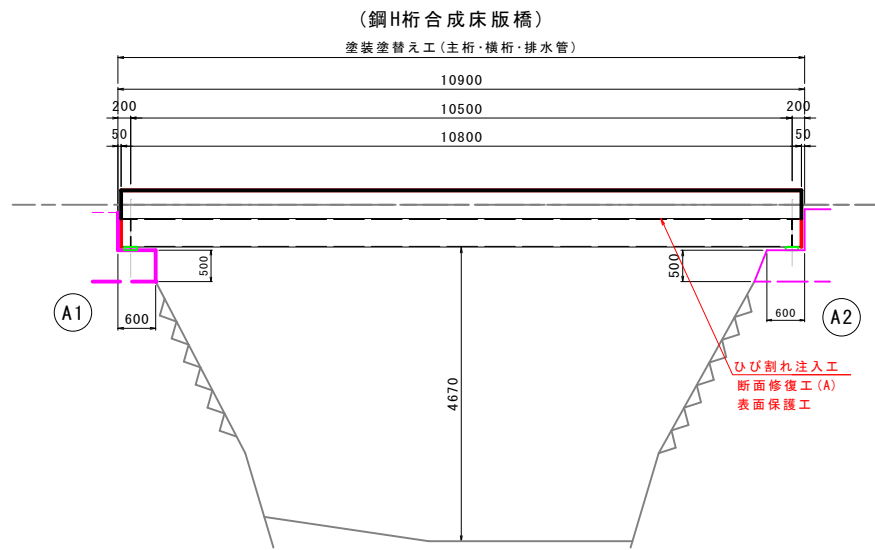
1. 施工に当たっては現地計測の上、施工数量を決定の事

右側高欄正面図



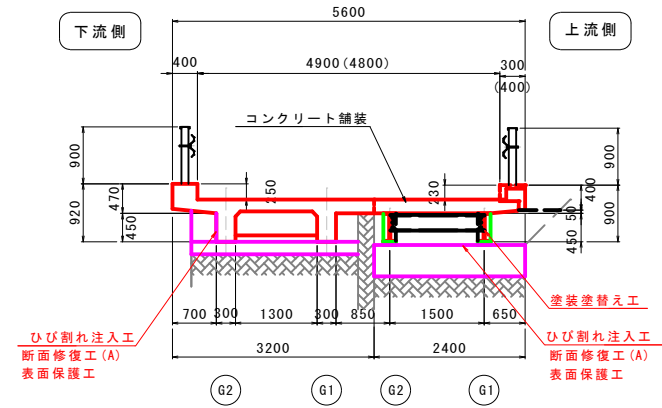
図面番号	2-1	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事		
種別	小泉11号線 1号橋梁	番号	
路線名	市道 小泉1号線		
工事箇所	三原市 小泉町		
三原市			

側面図 S=1:60

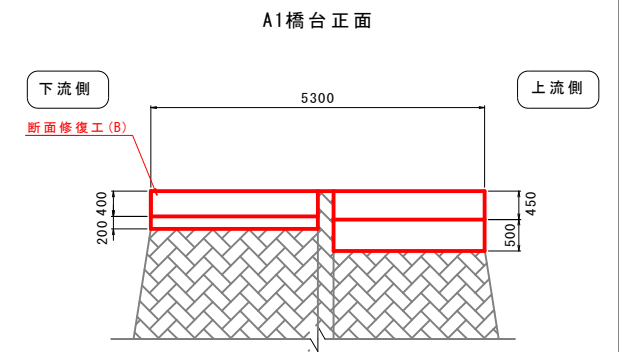


補修一般図

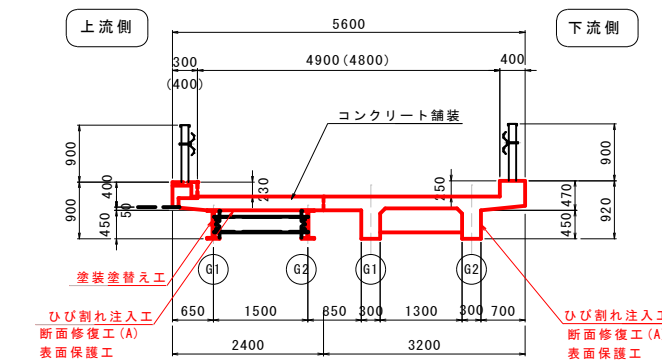
断面図 (A1 支点部) S=1:60



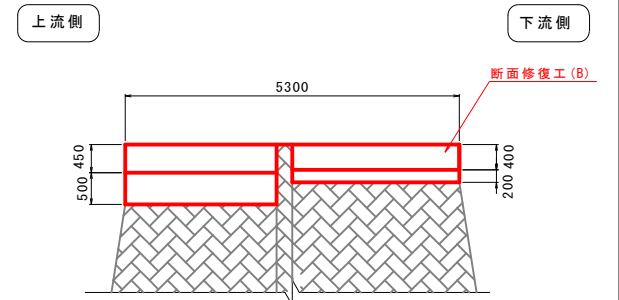
下部工正面図 S=1:60



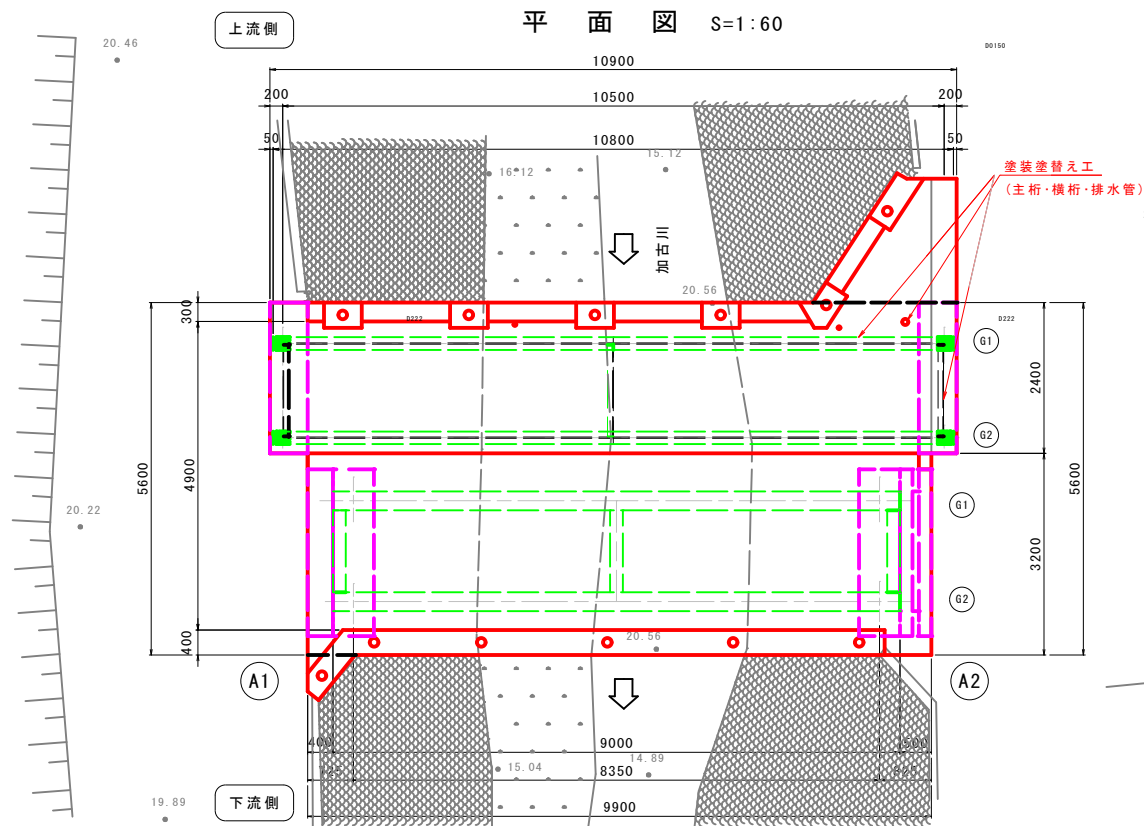
標準断面図 (中間部) S=1:60



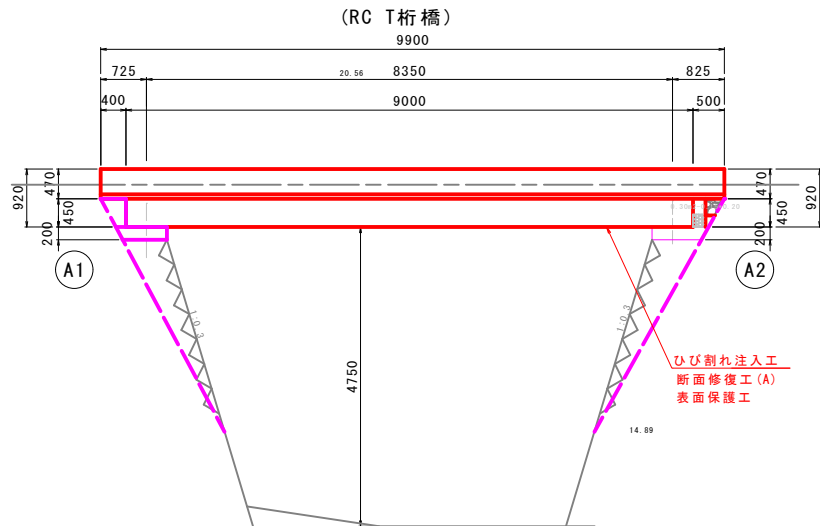
A2 橋台正面



平面図 S=1:60



側面図 S=1:60



橋梁補修一覧表

工種	内容	対象部材
塗装塗替え工	塗膜剥離剤にて素地調整後、Rc-II 塗装仕様にて塗替えを行う。	主桁・横桁・排水管 (鋼H桁橋)
ひびわれ注入工	ひびわれ内に注入器具を使用し低圧にて微粒子ポリマーセメントを注入する。	主桁 (RCT)・床版
断面修復工 (A)	鉄筋露出部を防錆処理後、ポリマーセメントモルタルで修復を行う。	主桁 (RCT)・床版
断面修復工 (B)	すりへり箇所に、ポリマーセメントモルタルで修復を行う。	A1, A2橋台
表面保護工	コンクリートの表面を洗浄後、ケイ酸塩系含浸材を塗布する。	主桁 (RCT)・床版・横桁・横桁 (RC)

注記
 ※1 本図は現地簡易計測結果をもとに作成したものである。
 ※2 施工前に本図をもとに詳細計測を行い、補修材料の仕様・数量等を確定し施工すること。

設計条件	単位	不明
橋格		不明
橋梁形式	上部工	単純合成床版橋
		単純RC T桁橋
	下部工	A1橋台 護岸橋台
		A2橋台 護岸橋台
		基礎 直接基礎
橋長	m	RC T: 9.90, 合成床版: 10.90
桁長	m	RC T: 9.00, 合成床版: 10.80
支間長	m	RC T: 8.35, 合成床版: 10.50
有効幅員	m	4.90
斜角	度	90°
設計水平震度	kh	不明
使用材料	上部工	$\sigma_{ck}=21N/mm^2$ (※)
設計基準強度	下部工	$\sigma_{ck}=18N/mm^2$ (※)
竣工年/ (適用示方書)	竣工年	1960年 / (不明)

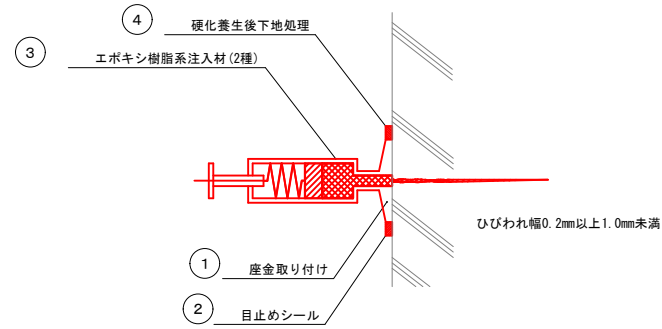
※使用材料、強度は推定。

図面番号	2-2	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事		
種別	小泉11号線 1号橋梁	番号	
路線名	市道 小泉11号線		
工事箇所	三原市 小泉町		
三原市			

補修詳細図 NON-SCALE

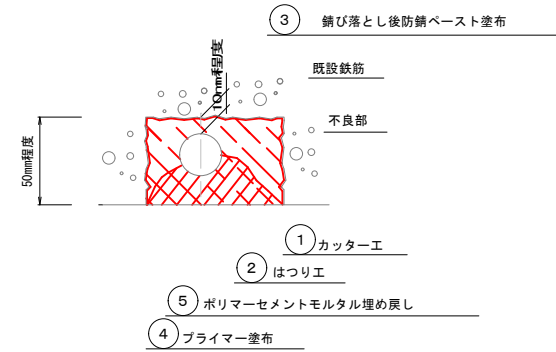
ひびわれ注入工

エポキシ樹脂系注入材 (2種)



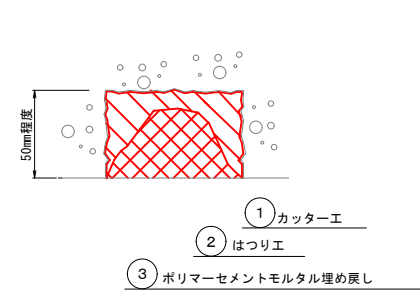
断面修復工A

左官工法(防錆処理含む)
d=5cm

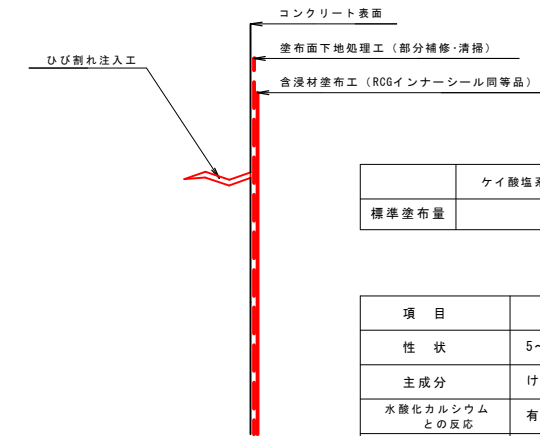


断面修復工B

左官工法(防錆処理含まない)
d=5cm



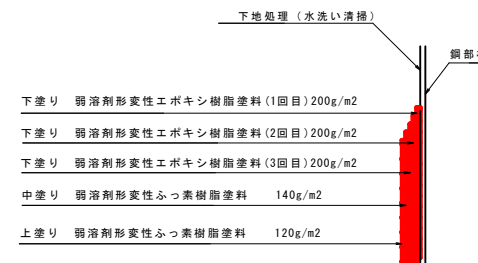
コンクリート 表面保護工 (反応型ケイ酸塩系表面含浸材)



	単位 (g)
標準塗布量	220
※1㎡あたりの標準塗布量	

項目	目標値
性状	5~150nmのポリシリケートおよび粒子コロイド
主成分	けい酸ナトリウム・けい酸カルシウム
水酸化カルシウムとの反応	有
乾燥固形分率	12%以上
種類	反応型けい酸塩系表面含浸材
密度	1.05以上
pH値	11.0以上
色	無色

塗装塗替え工 (Rc-Ⅲ)



※ 施工手順

塗替え仕様は「鋼道路橋防食便覧 平成26年3月/日本道路協会」に準ずる。

- 1 下地処理 (水洗い清掃)
- ↓
- 2 素地調整 (3種ケレンA)
- ↓
- 3 下塗り工
- ↓
- 4 中塗り工
- ↓
- 5 上塗り工

注記)

1. 施工の適正気温及び養生方法を確認し、施工を行うこと。
2. 素地調整は3種ケレン以上とし、狭隙部などは電動工具と手工具との併用。
3. はけおよびローラーによる塗装。

※ 施工手順

- 1 作業範囲設定 (安全を確認するため、作業範囲の確認)
- ↓
- 2 下地補修 (大きい破損やクラック等はモルタル等での部分補修)
- ↓
- 3 養生 (飛散防止のため養生、ブルーシート・養生シート等)
- ↓
- 4 清掃 (低圧・高圧洗浄機や金ブラシ等で、塗布面の汚れを除去清掃)
- ↓
- 5 ケイ酸塩系表面含浸材塗布 (標準塗布量220g/㎡を噴霧機やローラー、刷毛などを利用し均等に塗布)
- ↓
- 6 湿潤養生 (手で触って多少べとつく程度の湿潤養生を行う(90分程度)
(この間、乾燥が激しい場合は必要に応じて散水する))
- ↓
- 7 養生材撤去 (撤去した養生材は必ず指定された場所に廃棄)
- ↓
- 8 場内片付 (全工程終了後、監督員・係員に完了検査を受ける)

注記)

1. 中性化及び雨水等の影響を受けないコンクリートの場合、塗布後に炭酸カルシウムが表層部に発生することがあるので、洗浄を行う。
2. 含浸材がガラス等に付着すると除去が困難なため、飛散防止を対策する。
3. 湿潤養生は含浸材塗布後半乾燥状態時に湿潤養生し、90分以上養生する。
4. 含浸材塗布量の管理は厳密に行う。
事前に図面等で材料の塗布量を確認し、現場においてマーキング等を行い管理する。
5. 塗布作業は、基本的に水下から行う。
6. 本材料はコロイドのため凝集するので、利用前には攪拌する。
7. 下地洗浄時には、酸性の薬剤等は利用しない。(中和反応するため)

図面番号	2-3	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事		
種別	小泉11号線 1号橋梁 補修図(1)	番号	
路線 河川名	市道 小泉11号線		
工事箇所	三原市 小泉町		
三原市			

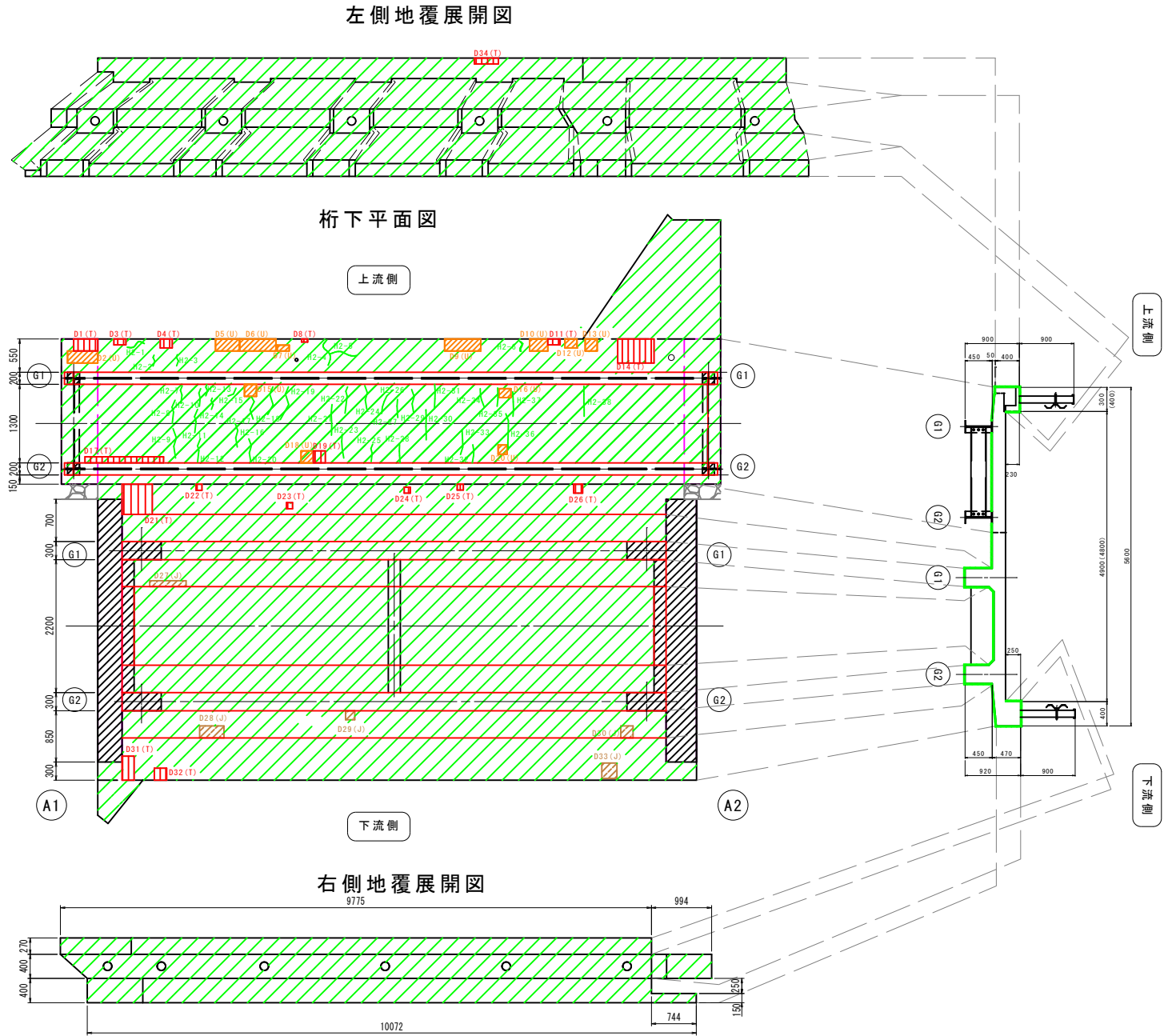
補修図(1) S=1:50

上部工(桁下)

補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工法
コンクリートの浮き、剥離 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工(A)
剥落・鉄筋露出 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工(A)
豆板 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工(A)
変形・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工(A)
変形・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。		断面修復工(B)
コンクリート表面劣化部		表面保護工

注記)
1. 施工に当たっては現地計測の上、施工数量を決定の事



断面修復工(A)数量表(上部工)深さ0.05m

測点	寸法	面積(m ²)	測点	寸法	面積(m ²)
D1(T)	0.20×0.40	0.08	D19(T)	0.20×0.20	0.04
D2(U)	0.20×0.50	0.10	D20(U)	0.15×0.15	0.02
D3(T)	0.20×0.10	0.02	D21(T)	0.50×0.50	0.25
D4(T)	0.20×0.15	0.03	D22(T)	0.10×0.10	0.01
D5(U)	0.40×0.20	0.08	D23(T)	0.10×0.10	0.01
D6(U)	0.60×0.20	0.12	D24(T)	0.10×0.10	0.01
D7(U)	0.10×0.20	0.02	D25(T)	0.10×0.10	0.01
D8(T)	0.05×0.10	0.01	D26(T)	0.15×0.15	0.02
D9(U)	0.20×0.60	0.12	D27(J)	0.60×0.10	0.06
D10(U)	0.20×0.30	0.06	D28(J)	0.40×0.20	0.08
D11(T)	0.20×0.10	0.02	D29(J)	0.15×0.15	0.03
D12(U)	0.15×0.20	0.03	D30(J)	0.20×0.20	0.04
D13(U)	0.20×0.20	0.04	D31(T)	0.45×0.20	0.09
D14(T)	0.60×0.40	0.24	D32(T)	0.20×0.20	0.04
D15(U)	0.20×0.20	0.04	D33(J)	0.25×0.25	0.06
D16(U)	0.15×0.20	0.03	D34(T)	0.40×0.10	0.04
D17(T)	1.30×0.10	0.13		合計	2.02
D18(U)	0.20×0.20	0.04			

ひびわれ注入工数量表
(ひびわれ幅0.2~0.5mm未満)

測点	寸法(m)		測点	寸法(m)	
	L(m)			L(m)	
H2-1	0.10		H2-21	0.50	
H2-2	0.20		H2-22	0.45	
H2-3	0.20		H2-23	0.40	
H2-4	0.25		H2-24	0.40	
H2-5	0.25		H2-25	0.30	
H2-6	0.10		H2-26	0.45	
H2-7	0.20		H2-27	0.30	
H2-8	0.40		H2-28	0.30	
H2-9	0.50		H2-29	0.40	
H2-10	0.30		H2-30	0.50	
H2-11	0.40		H2-31	0.40	
H2-12	0.40		H2-32	0.30	
H2-13	0.20		H2-33	0.40	
H2-14	0.20		H2-34	0.30	
H2-15	0.20		H2-35	0.30	
H2-16	0.40		H2-36	0.60	
H2-17	0.40		H2-37	0.40	
H2-18	0.50		H2-38	0.50	
H2-19	0.60				
H2-20	0.40		小計	7.20	
小計	6.20		合計	13.40	

図面番号	2-4	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事		
種別	小泉11号線 1号橋梁	番号	
路線名	市道 小泉11号線		
工事箇所	三原市 小泉町		
三原市			

補修図(2) S=1:30

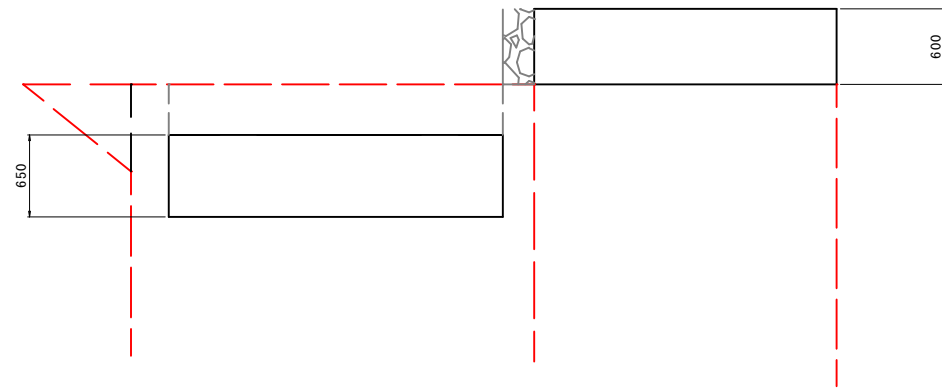
下部工

補修工法凡例

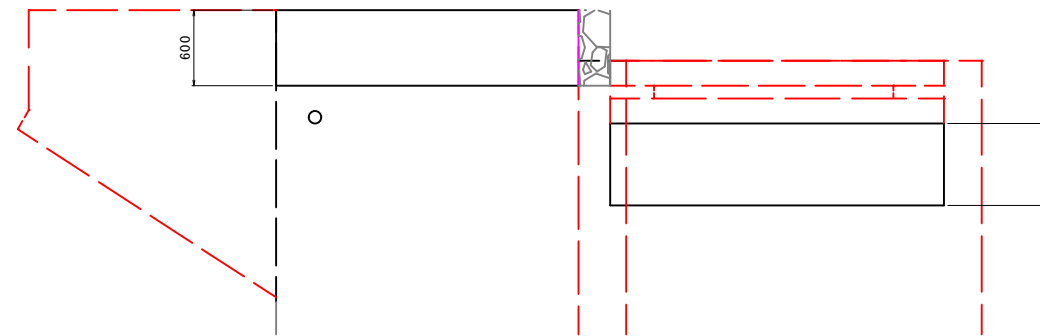
損傷	記号	補修対策工法
コンクリートの浮き・剥離 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	[斜線記号]	断面修復工(A)
剥落・鉄筋露出 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	[縦線記号]	断面修復工(A)
豆板 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	[斜線記号]	断面修復工(B)
変形・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	[斜線記号]	断面修復工(A)
変形・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	[斜線記号]	断面修復工(B)
コンクリート表面劣化部	[斜線記号]	表面保護工

注記)
1. 施工に当たっては現地計測の上、施工数量を決定の事

A2橋台平面図(沓座)



A2橋台平面図(沓座)



断面修復工(B)数量表(下部工)深さ0.05m

測点	寸法	面積 (m ²)
D1 (J)	0.25 × 0.40	0.10
D2 (J)	0.25 × 0.40	0.10
合計		0.20

下流側側面図

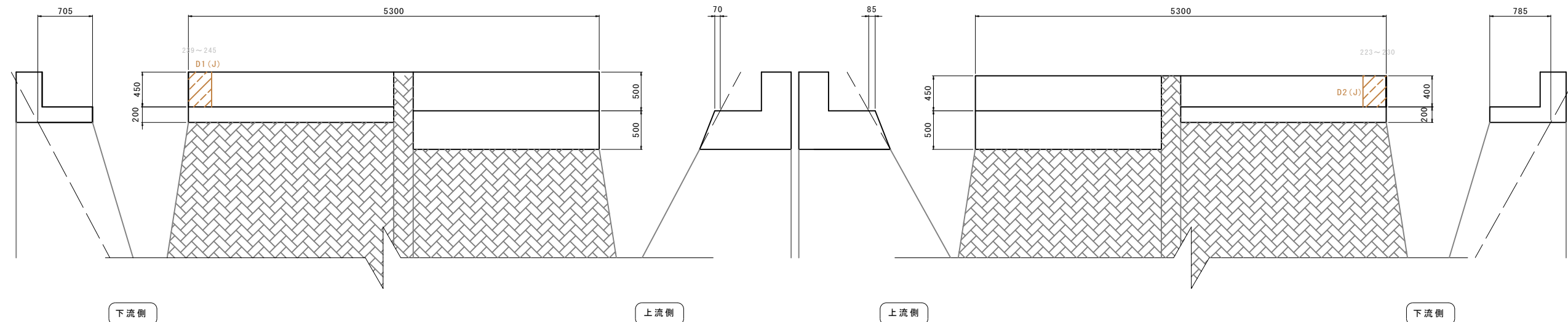
A1橋台正面

上流側側面図

上流側側面図

A2橋台正面

下流側側面図

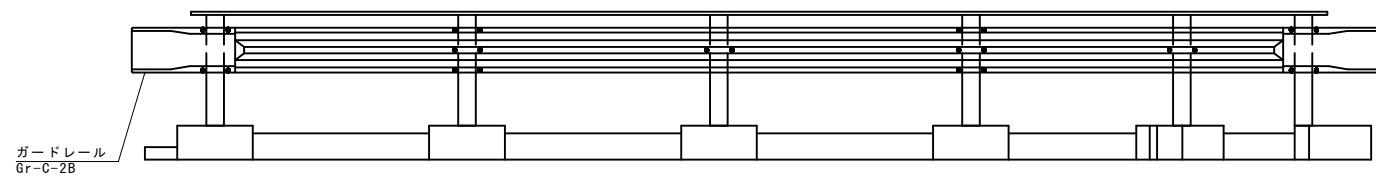


図面番号	2-5	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事		
種別	小泉11号線 1号橋梁	番号	
路線名	市道 小泉11号線		
工事箇所	三原市 小泉町		
三原市			

補修図(3) S=1:30

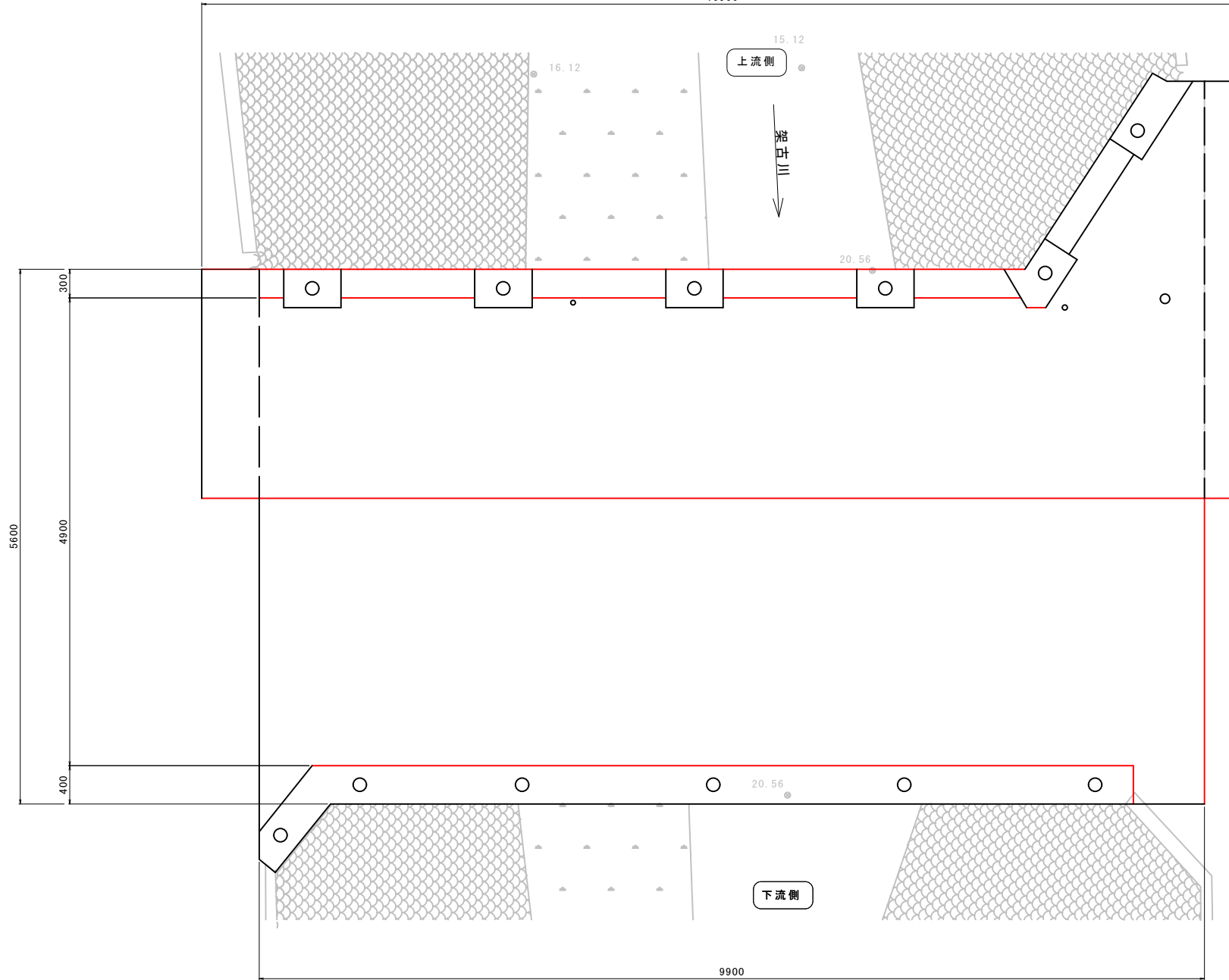
(路面)

左側防護柵正面図

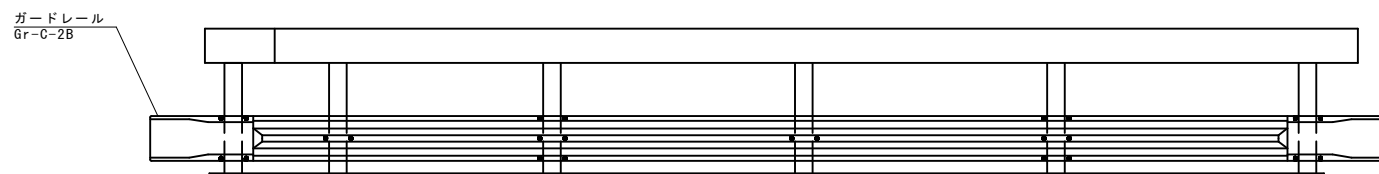


平面図

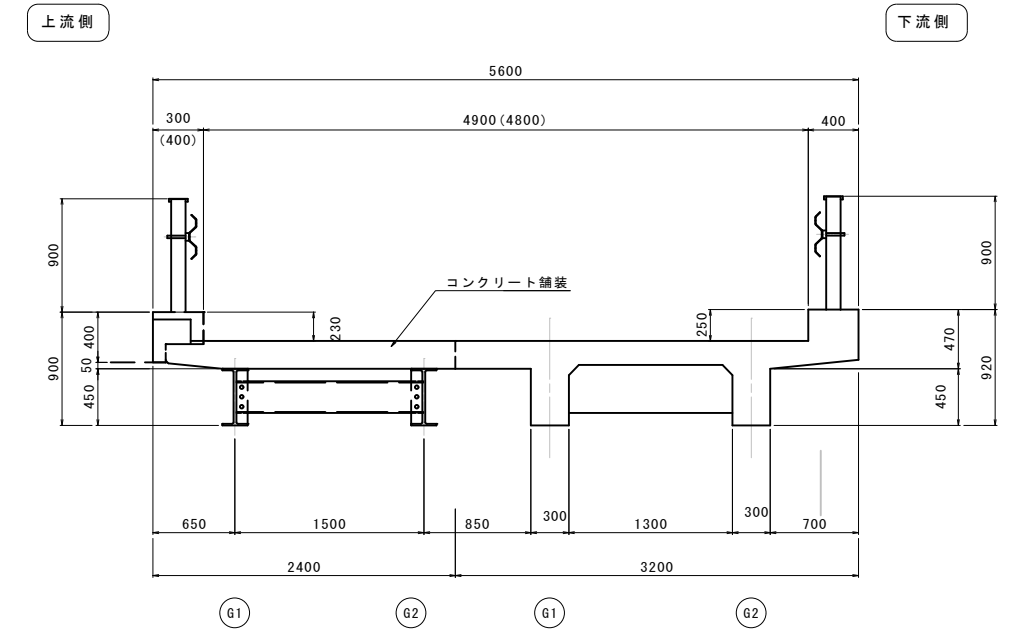
10900



右側防護柵正面図



標準断面図(中間部) S=1:30



凡例

舗装	コンクリート舗装ひびわれ 5mm以下 図中の数値は長さ(m)を示す。(m)	0.8
	コンクリート舗装ひびわれ 5mm以上 図中の数値は長さ(m)を示す。(m)	0.8
	コンクリート舗装の劣化 図中の数値は面積(m ²)と幅×長さ(m)を示す。	0.5m ² -1.0*0.5
	舗装のポットホール(P) 図中の数値は面積(m ²)と幅×長さ(m)を示す。	0.5m ² -1.0*0.5
	路面の凹凸 図中の数値は幅(m)×長さ(m)と凹凸深さ(mm)を示す。	0.3m*0.1m-30mm
	路面の段差(d) 図中の数値は段差幅(m)と段差深さ(mm)を示す。	L=1.0m-d=20mm
	土砂溜り(D) 図中の数値は面積(m ²)と幅×長さ(m)を示す。	0.03m ² -0.3*0.1
	すりへり(S) 図中の数値は面積(m ²)と幅×長さ(m)を示す。	0.03m ² -0.3*0.1

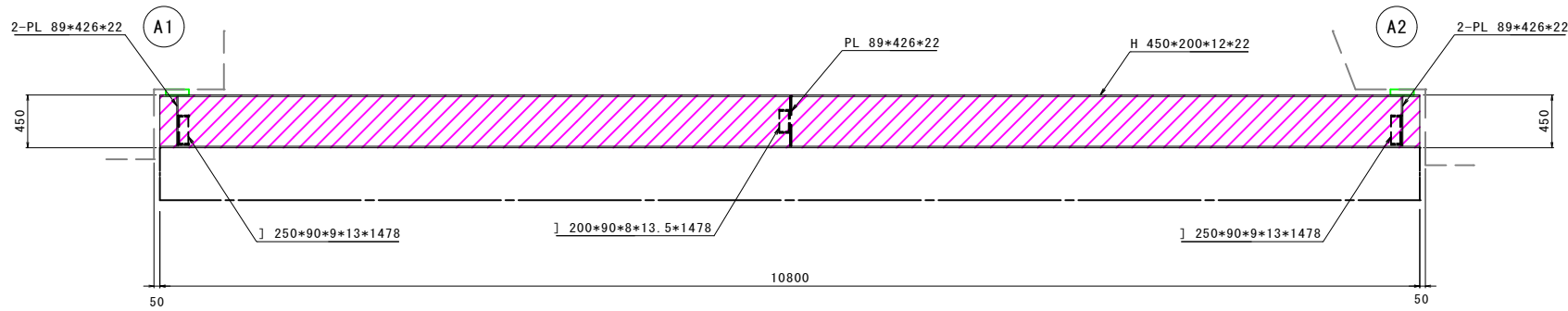
鋼材構造物損傷凡例

高欄	腐食・欠損 図中の数値は幅×高さ(m)を示す。	0.40*0.20
	破断 図中の数値は破断長さ(m)を示す。	0.60

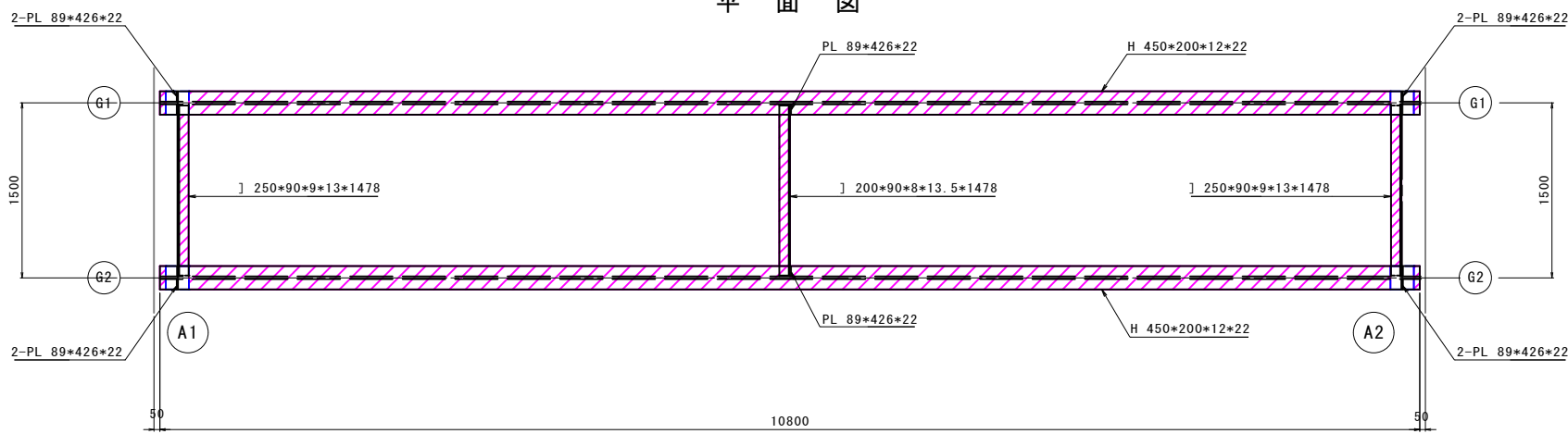
図面番号	2-6	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事		
種別	小泉11号線 1号橋梁	番号	
種別	鋼材補修図		
路線名	市道 小泉11号線		
工事箇所	三原市 小泉町		
三原市			

鋼材補修図 S=1:30

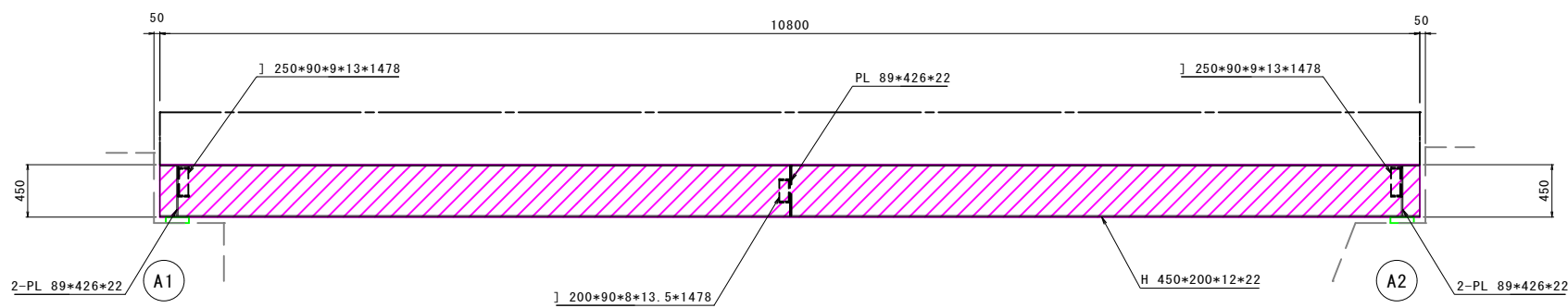
主桁G1側面図



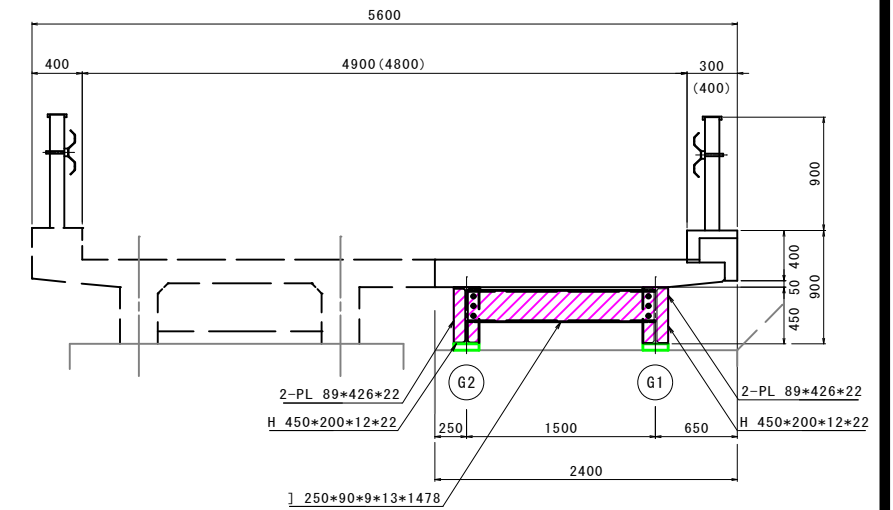
平面図



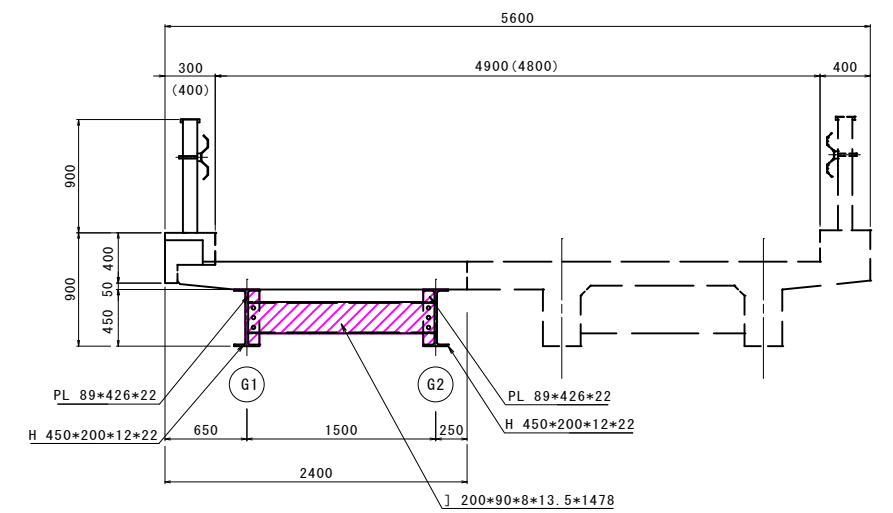
主桁G2側面図



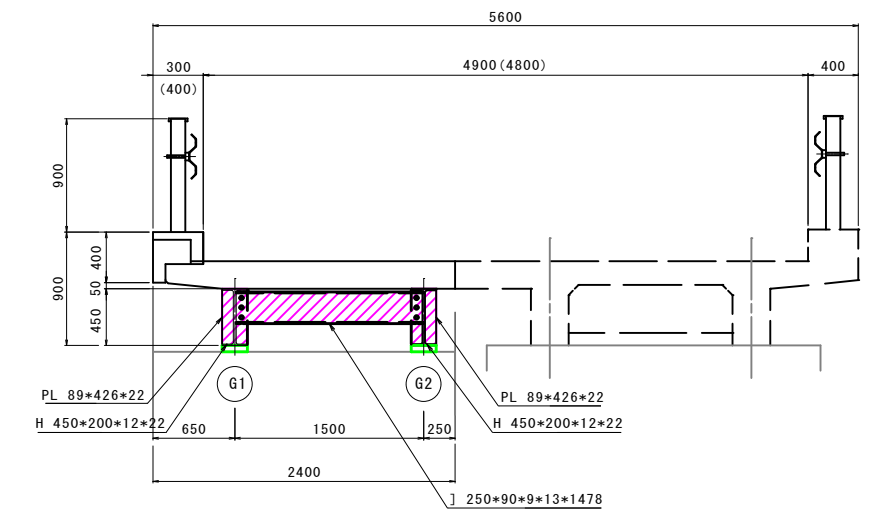
断面図(A1支点部) S=1:30



標準断面図(中間部) S=1:60



断面図(A2支点部) S=1:30



補修工法凡例

損傷	記号	補修対策工法
防食機能の劣化、腐食	▨	塗装塗替え

注記

1. 上の図に塗装塗り替えを行う主要鋼材寸法を示す。
2. 塗装面積は数量計算書を参照。
3. 施工にあたっては現地計測の上、施工数量を決定する。
4. 塗装仕様はRc-Ⅲとする。

参 考 资 料

— 桥梁补修工事（市道田野浦3号线 1号桥梁外1桥） —

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-03.08.01(0)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)	
	当世代 41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
ひび割れ補修工	1	式			Y1G03240402 レベル4
低圧注入工法 【ポリマー超微粒子セメント系】	1	構造物			Y1G03240402 レベル4
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合 ポリマーセメント系	1	構造物			S1020035 00 単第0 -0001 表
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 【修復深さ d=5cm】	1	構造物			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.508m3	1	構造物			S1020041 00 単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表面被覆工	1	式			Y1G032406 レベル3
下地処理	42	m2			Y4999 レベル4
下地処理 施工規模100m2以下 高压洗浄	42	m2			V0001 00 単第0 -0003 表
下地処理 施工規模100m2以下 サンダーケレン	42	m2			V0071 00 単第0 -0004 表
表面含浸工 【反応型ケイ酸塩系表面含浸材】	42	m2			Y4999 レベル4
表面含浸工 施工規模100m2以下 RCGインナーシール 相当品	1	構造物			V0002 00 単第0 -0005 表
水切設置工	1	式			Y3999 レベル3
水切設置工	12	m			Y4999 レベル4
水切設置工 水切りアイドリップ 相当品	12	m			V0003 00 単第0 -0006 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
構造物撤去工					Y1G0327 レベル2
	1	式			
運搬処理工					Y1G032716 レベル3
	1	式			
殻運搬 【コンクリート殻】					Y1G03271601 レベル4
	0.5	m3			
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)					SPK21040138 00
	0.5	m3			単第0 -0007 表
殻処分 【コンクリート殻】					Y1G03271602 レベル4
	0.5	m3			
コンクリート塊受入費 再生工場搬入					T9005 00
	1	t			
現場塗装工					Y1G0325 レベル2
	1	式			
道路付属構造物塗装工					Y1G032502 レベル3
	1	式			
素地調整 防護柵類					Y1G03250201 レベル4
	5	m2			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
素地調整 落石防止柵類	5	m2			SPK21040307 00 単第0 -0008 表
下塗 フェノール樹脂MIO塗装 下塗 淡彩	5	m2			Y1G03250202レベル4
付属構造物塗替 フェノール樹脂MIO塗装 下塗 淡彩 防護柵類・落石防止柵類	5	m2			SPK21040308 00 単第0 -0009 表
中塗 長油性フタル酸樹脂塗料 中塗 白色	5	m2			Y1G03250203レベル4
付属構造物塗替 長油性フタル酸樹脂塗料 中塗 白色 防護柵類・落石防止柵類	5	m2			SPK21040308 00 単第0 -0010 表
上塗 長油性フタル酸樹脂塗料 上塗 白色	5	m2			Y1G03250204レベル4
付属構造物塗替 長油性フタル酸樹脂塗料 上塗 白色 防護柵類・落石防止柵類	5	m2			SPK21040308 00 単第0 -0011 表
舗装工	1	式			Y1G0304 レベル2
舗装打換え工	1	式			Y1G030402 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
舗装版切断 【アスファルト舗装版】	7	m			Y1G03040201 レベル4
舗装版切断 アスファルト舗装版 アスファルト舗装版厚15cm以下	7	m			SPK21040302 00 単第0 -0012 表
舗装版破碎(小規模) 【アスファルト舗装版】	1	m ²			Y1G03040203 レベル4
舗装版破碎積込(小規模土工)	1	m ²			SPK21040018 00 単第0 -0013 表
殻運搬 【アスファルト殻】	0.2	m ³			Y1G03040205 レベル4
殻運搬 舗装版破碎 DID区間無し 運搬距離4.5km以下(3.5km超)	0.2	m ³			SPK21040138 00 単第0 -0014 表
殻処分 【アスファルト殻】	0.2	m ³			Y1G03040206 レベル4
【直接工事費に含まれる処分費等】					#0041
アスファルト殻受入費 再生工場搬入	0.5	t			T9006 00

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
上層路盤 【全仕上り厚30mm】	1	m2			Y1G03040208 レベル4
上層路盤(車道・路肩部) RM-30 全仕上り厚30mm 1層施工	1	m2			SPK21040227 00 単第0 -0015 表
表層 【平均幅員1.4m未満】	1	m2			Y1G03040211 レベル4
表層(車道・路肩部) 平均幅員1.4m未満 1層当り平均仕上厚50mm	1	m2			SPK21040234 00 単第0 -0016 表
仮設工	1	式			Y1G0328 レベル2
足場工	1	式			Y3999 レベル3
足場 【吊足場】	26	m2			Y4999 レベル4
足場工(床版補強工) 桁高1.5m未満	26	m2			S3030011 00 単第0 -0017 表
足場工(朝顔)(床版補強工) 両側朝顔	26	m 2			S3030013 00 単第0 -0018 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
防護工(床版補強工) シート張防護工 両側朝顔	26	m ²			S3030015 00 単第0 -0019 表
全工種共通仮設					Y1J01 レベル1
仮設工	1	式			Y1J0101 レベル2
交通管理工	1	式			Y1J010121 レベル3
交通誘導警備員	1	式			Y1J01012101 レベル4
交通誘導警備員B	18	人			R0369 00
	18	人			
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額
一般管理費計					
** 工事価格 **					
** 消費税相当額 ** 計算情報..... 対象額..... 率.....					

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
工事費計					
契約保証費計					

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035
ポリマーセメント系

単第0 -0001 表

1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			
特殊作業員	2.400	人			
普通作業員	1.800	人			
超微粒子セメント系注入材 アーマ#600 相当	0.120	kg			
可とう性エポキシシール材 E380F 相当	0.822	kg			
低圧注入器具 無機系用 5回転用	13.000	本			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=1 【F】注入材(kg) C=2 【F】シール材(kg) E=4 【F】低圧注入器具(個)			B=0.12 D=0.6 F=13	注入材の必要数量(kg/構造物) シール材の設計数量(kg/構造物) 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)	

施工単価表

殻運搬

SPK21040138

単第0 -0007 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離5.7km以下(3.3km超)

1

m3 当り

機械構成比: 43.38% 労務構成比:

41.88% 材料構成比: 14.74% 市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,199.60000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.38%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	41.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.74%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 Co(無筋)構造物とりこわし C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=1 機械積込 D=25 運搬距離5.7km以下(3.3km超)		

施工単価表

付属構造物塗替

SPK21040308

単第0 -0009 表

フェノール樹脂M10塗装 下塗 淡彩

防護柵類・落石防止柵類

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比:

85.39%

材料構成比: 14.61%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,115.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
塗装工	83.72%		塗装工		RTPC00013 RTPT00013
その他(労務)			その他(労務)		ER009
中・上塗り_フェノール樹脂系M10塗料 中塗・上塗用,色(グレー)	14.61%		フェノール樹脂M10塗料		TTPC00068 TTPT00068
積算単価			積算単価		EP001
A=3 G=1 フェノール樹脂M10塗装 下塗 淡彩 -(全ての費用)			C=4 防護柵類・落石防止柵類		

施工単価表

付属構造物塗替

SPK21040308

単第0 -0010 表

長油性フタル酸樹脂塗料 中塗 白色

防護柵類・落石防止柵類

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 94.17%

材料構成比: 5.83%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,011.60000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
塗装工	92.33%		塗装工		RTPC00013 RTPT00013
その他(労務)			その他(労務)		ER009
中・上塗り_長油性フタル酸樹脂塗料 JISK5516,2種 中塗用,白	5.83%		長油性フタル酸樹脂塗料 (JIS K5516 2種) 淡彩色 中塗用		TTPCD0173 TTPT00069
積算単価			積算単価		EP001
A=10 G=1 長油性フタル酸樹脂塗料 中塗 白色 -(全ての費用)			C=4 防護柵類・落石防止柵類		

施工単価表

付属構造物塗替

SPK21040308

単第0 -0011 表

長油性フタル酸樹脂塗料 上塗 白色

防護柵類・落石防止柵類

1

m2 当り

機械構成比: 0.00% 労務構成比: 94.19%

材料構成比: 5.81%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

1,011.40000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
塗装工	92.35%		塗装工		RTPC00013 RTPT00013
その他(労務)			その他(労務)		ER009
中・上塗り_長油性フタル酸樹脂塗料 JISK5516,2種 上塗用,白	5.81%		長油性フタル酸樹脂塗料 (JIS K5516 2種) 淡彩色 上塗用		TTPCD0185 TTPT00070
積算単価			積算単価		EP001
A=24 G=1 長油性フタル酸樹脂塗料 上塗 白色 -(全ての費用)			C=4 防護柵類・落石防止柵類		

施工単価表

舗装版切断

SPK21040302

単第0 -0012 表

アスファルト舗装版

アスファルト舗装版厚15cm以下

1

m 当り

機械構成比: 6.24%

労務構成比:

54.57%

材料構成比: 39.19%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

562.41000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm	4.22%		コンクリートカッタ バキューム式・湿式 切削深20cm級ブレード径 56cm		MTPC00056 MTPT00056
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	19.07%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
土木一般世話役	9.53%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
普通作業員	8.29%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
その他(労務)			その他(労務)		ER009
コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)	36.35%		コンクリートカッタブレード 自走式切断機用 径56cm(22インチ)		TTPC00015 TTPT00015
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	1.92%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
その他(材料)			その他(材料)		EZ009

施工単価表

殻運搬

舗装版破碎

機械構成比: 19.75% 労務構成比: 70.85%

SPK21040138

DID区間無し 運搬距離4.5km以下(3.5km超)

材料構成比: 9.40%

単第0 -0014 表

1
標準単価:

m3 当り

3,688.60000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	19.75%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 2t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00016T1 MTPT00016T1
運転手(一般)	70.85%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	9.40%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=3 舗装版破碎 C=1 DID区間無し E=1 -(全ての費用)			B=4 機械積込(小規模土工) D=20 運搬距離4.5km以下(3.5km超)		

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK21040227

単第0 -0015 表

RM-30

全仕上り厚30mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 10.38% 労務構成比:

30.75%

材料構成比: 58.87%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

543.99000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m	4.20%		モータグレーダ 土工用・排2 ブレード幅3.1m		MTPC00134 MTPT00134
ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m	3.25%		ロードローラ マタダム・排2 運転質量10t締固め幅2.1m		MTPC00135 MTPT00135
<賃>タイヤローラ 質量8~20t 排出ガス対策型(第1,2次基準値)低騒音	1.06%		タイヤローラ 質量8~20t		KTPC00007 KTPT00007
その他(機械)			その他(機械)		EK009
運転手(特殊)	14.14%		運転手(特殊)		RTPC00006 RTPT00006
特殊作業員	4.97%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	4.74%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	1.36%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009

施工単価表

上層路盤(車道・路肩部)

SPK21040227

単第0 -0015 表

RM-30

全仕上り厚30mm 1層施工

1

m2 当り

機械構成比: 10.38%

労務構成比:

30.75%

材料構成比:

58.87%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

543.99000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
再生粒度調整碎石 30~0mm	56.09%		再生粒度調整碎石 RM-40 [標準数量]全仕上り厚150mm		TTPC00010 TTPT00357
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	2.28%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=5 H=1 RM-30 -(全ての費用)			E=30 全仕上り厚(mm)		
【路盤材単価】 全仕上り厚(mm)/1000*路盤材単価(円) 全仕上り厚(mm):30.000(mm)					

施工単価表

頁0 -0028

表層(車道・路肩部)

SPK21040234

単第0 -0016 表

平均幅員1.4m未満

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.51%

労務構成比:

44.56%

材料構成比:

54.93%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

2,452.70000

代表機労材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機労材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t	0.29%		振動ローラ(舗装用) ハンドガイド式 運転質量0.5~0.6t		MTPC00047 MTPT00047
振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg	0.15%		振動コンパクト 前進型 運転質量40~60kg		MTPC00049 MTPT00049
その他(機械)			その他(機械)		EK009
特殊作業員	20.05%		特殊作業員		RTPC00001 RTPT00001
普通作業員	14.02%		普通作業員		RTPC00002 RTPT00002
土木一般世話役	4.02%		土木一般世話役		RTPC00009 RTPT00009
その他(労務)			その他(労務)		ER009
再生加熱アスファルト混合物 再生密粒度(13)	50.06%		密粒度As混合物(20) [標準数量]平均仕上り厚50mm		TTPC00024 TTPT00284
アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用	4.70%		アスファルト乳剤(JISK2208) アスファルト乳剤(浸透用) PK-3プライムコート用		TTPC00026 TTPT00026

施工単価表

表層(車道・路肩部)

SPK21040234

単第0 -0016 表

平均幅員1.4m未満

1層当り平均仕上厚50mm

1

m2 当り

機械構成比: 0.51%

労務構成比:

44.56%

材料構成比:

54.93%

市場単価構成比:

0.00%

標準単価:

2,452.70000

代表機材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ガソリン,レギュラー スタンド渡し,スタンド給油	0.12%		ガソリンレギュラースタンド		TTPC00014 TTPT00014
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	0.03%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
その他(材料)			その他(材料)		EZ009
積算単価			積算単価		E9999
A=1 平均幅員1.4m未満(1層平均50mm以下) C=7 再生密粒度アスファルト混合物(13) G=1 - I=1 -(全ての費用)			B=50 1層当り平均仕上り厚(mm) E=2 PK-3 H=1 -		
【アスファルト混合物単価】 1層当り平均仕上り厚(mm)/1000*(アスファルト混合物単価(円)+各種割増合計値) 1層当り平均仕上り厚(mm):50.000(mm)					

総括情報表

変更回数 適用単価地区 単価適用日	0 59 三原市 00-03.08.01(0)	凡例 Co … コンクリート As … アスファルト DT … ダンプトラック BH … バックホウ CC … クローラクレーン TC … トラッククレーン RTC… ラフテレーンクレーン
諸経費体系	1 公共(一般)	
	当世代 41 橋梁保全工事 04 一般交通影響有り(2) 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 補正なし 00 通常工事 0% 00 補正無し 01 金銭的保証(0.04%)	前世代
建設技能労働者や交通誘導員等の現場労働者にかかる経費として、労務費のほか各種経費（法定福利費の事業者負担額，労務管理費，安全訓練等に要する費用等）が必要であり，本積算ではこれらを現場管理費等の一部として率計上している。		

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
本工事費					X1000
橋梁保全工事					Y1G03 レベル1
橋梁補修工	1	式			Y1G0324 レベル2
ひび割れ補修工	1	式			Y1G032404 レベル3
ひび割れ補修工	1	式			Y1G03240402 レベル4
低圧注入工法 【ポリマー超微粒子セメント系】	1	構造物			Y1G03240402 レベル4
ひび割れ補修工(低圧注入工法) 補修延べ延長25m未満の場合 ポリマーセメント系	1	構造物			S1020035 00 単第0 -0001 表
断面修復工					Y1G032405 レベル3
断面修復工	1	式			Y1G032405 レベル3
左官工法 【修復深さ d=5cm】					Y1G03240501 レベル4
左官工法	1	構造物			Y1G03240501 レベル4
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.111m3					S1020041 00
断面修復工(左官工法) (鉄筋ケレン・鉄筋防錆処理を含む) 修復延べ体積0.111m3	1	構造物			単第0 -0002 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
表面被覆工					Y1G032406 レベル3
	1	式			
下地処理					Y4999 レベル4
	104	m2			
下地処理					V0060 00
	104	m2			単第0 -0003 表
表面含浸工 【反応型ケイ酸塩系表面含浸材】					Y4999 レベル4
	104	m2			
含浸材塗布					V0061 00
	1	橋			単第0 -0004 表
橋梁塗装工					Y3999 レベル3
	1	式			
塗膜撤去工					Y4999 レベル4
	26	m2			
塗膜剥離剤塗布・塗膜撤去					V0056 00
	1	橋			単第0 -0005 表
廃材回収・積込					V0058 00
	1	橋			単第0 -0006 表

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
素地調整 清掃・3種ケレン	26	m2			Y4999 レベル4
塗替塗装 清掃・水洗い	26	m2			SDT00029 00 単第0 -0007 表
塗替塗装 素地調整	26	m2			SDT00029 00 単第0 -0008 表
下塗り 弱溶剤形変性エポキシ樹脂塗料 はけ・ローラー塗	26	m2			Y4999 レベル4
塗替塗装 下塗り塗装	26	m2			SDT00029 00 単第0 -0009 表
塗替塗装 下塗り塗装	26	m2			SDT00029 00 単第0 -0010 表
中塗り 弱溶剤形変性ふっ素樹脂塗料 はけ・ローラー塗	26	m2			Y4999 レベル4
塗替塗装 中塗り塗装	26	m2			SDT00029 00 単第0 -0011 表
上塗り 弱溶剤形変性ふっ素樹脂塗料 はけ・ローラー塗	26	m2			Y4999 レベル4

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
塗替塗装 上塗り塗装	26	m2			SDT00029 00 単第0 -0012 表
構造物撤去工	1	式			Y1G0327 レベル2
運搬処理工	1	式			Y1G032716 レベル3
殻運搬 【コンクリート殻】	0.1	m3			Y1G03271601 レベル4
殻運搬 Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し 運搬距離1.6km以下	0.1	m3			SPK21040138 00 単第0 -0013 表
殻処分 【コンクリート殻】	0.1	m3			Y1G03271602 レベル4
コンクリート塊受入費 再生工場搬入	0.3	t			T9005 00
仮設工	1	式			Y1G0328 レベル2
足場工	1	式			Y3999 レベル3

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
足場 【吊足場】					Y4999 レベル4
	65	m2			
足場工（床版補強工） 桁高1.5m未満					S3030011 00
	65	m2			単第0 -0014 表
足場工（朝顔）（床版補強工） 両側朝顔					S3030013 00
	65	m 2			単第0 -0015 表
防護工（床版補強工） シート張防護工 両側朝顔					S3030015 00
	65	m 2			単第0 -0016 表
全工種共通仮設					Y1J01 レベル1
	1	式			
仮設工					Y1J0101 レベル2
	1	式			
交通管理工					Y1J010121 レベル3
	1	式			
交通誘導警備員					Y1J01012101 レベル4
	8	人			
交通誘導警備員B					R0369 00
	8	人			

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
** 直接工事費 ** #0020計=支給品等(材料),無償貸付					
共通仮設費率分					Z0019
計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 共通仮設費計 **					
** 純工事費 **					
現場管理費 計算情報..... 対象額..... 率.....					
** 工事原価 **					
一般管理費率分 計算情報..... 対象額..... 率.....					前払補正率...
契約保証費 計算情報..... 対象額..... 率.....					当初請対額 当初対象額

本工事費 内訳表

費目・工種・施工名称など	数量	単位	単価	金額	備考
一般管理費計					
工事価格					
消費税相当額 計算情報..... 対象額..... 率.....					
工事費計					
契約保証費計					

施工単価表

ひび割れ補修工(低圧注入工法)
補修延べ延長25m未満の場合

S1020035
ポリマーセメント系

単第0 -0001 表

1 1 構造物 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
土木一般世話役	1.500	人			
特殊作業員	2.400	人			
普通作業員	1.800	人			
超微粒子セメント系注入材 アーマ#600 相当	0.453	kg			
可とう性エポキシシール材 E380F 相当	3.672	kg			
低圧注入器具 無機系用 5回転用	54.000	本			
諸雑費	6	%			#09
*** 単位当たり ***	1	構造物			
A=1 【F】注入材(kg) C=2 【F】シール材(kg) E=4 【F】低圧注入器具(個)			B=0.453 D=2.68 F=54	注入材の必要数量(kg/構造物) シール材の設計数量(kg/構造物) 低圧注入器具の必要数量(個/構造物)	

施工単価表

下地処理

V0060

単第0 -0003 表

頁0 -0011

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
下地処理 サンダーケレン	1	m2			
*** 単位当たり ***	1	m2			

1 m2 当り

施工単価表

頁0 -0019

塗替塗装
中塗り塗装

SDT00029

単第0 -0011 表

1

m2 当り

名称・規格など	数量	単位	単価	金額	備考
昼間_塗替塗装【材工共】 中塗り_弱溶剤形ふっ素樹脂塗料_淡彩 はけ・ローラー, 時間的制約なし	1.000	m2			
諸雑費	1	式			
*** 単位当たり ***	1	m2			
A=1 昼間施工 E=2 弱溶剤形ふっ素樹脂塗料用 G=2 淡彩			B=5 中塗り塗装 F=1 はけ・ローラー H=1 -		
I=1 時間的制約なし					

施工単価表

殻運搬

SPK21040138

単第0 -0013 表

Co(無筋)構造物とりこわし

DID区間無し 運搬距離1.6km以下

1

m3 当り

機械構成比: 43.38% 労務構成比:

41.88% 材料構成比: 14.74%

市場単価構成比: 0.00%

標準単価:

863.71000

代表機劣材規格(積算地区)	構成比	単価(積算地区)	代表機劣材規格(東京地区)	単価(東京地区)	備考
ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)	43.38%		ダンプトラック[オンロード・ディーゼル] 10t積級 (タイヤ損耗費及び補修費(良好)を含む)		MTPC00018T1 MTPT00018T1
運転手(一般)	41.88%		運転手(一般)		RTPC00007 RTPT00007
軽油 パトロール給油,2~4KL積載車給油	14.74%		軽油1.2号パトロール給油		TTPC00013 TTPT00013
積算単価			積算単価		EP001
A=1 C=1 E=1	Co(無筋)構造物とりこわし DID区間無し -(全ての費用)		B=1 D=7	機械積込 運搬距離1.6km以下	

数量総括表(田野浦橋)

工事名	橋梁補修				事業区分		道路維持修繕
					工事区分		橋梁補修
工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	当初数量	摘要
橋梁補修							
	補修用足場工						
		吊足場	桁高1.5m以下		m2	26.4	
		朝顔	両側朝顔防護足場		m2	26.4	
	橋梁補修工						
		(上・下部工) ひびわれ補修工	ひびわれ注入工	幅0.2~5.0mm	m	3.0	
			注入材	無機系 w=0.35mm d=70mm	kg	0.120	
			シール材	比重2.0 d=1mm, w=100mm	kg	0.600	
			注入器具	@250mm	個	13	
		(上・下部工) 断面修復工(A)	RC床版 左官工法	t=50mm ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理有り	m3	0.508	
			搬運機・処分	機械, 10t	t	1.2	
		(上部工) 表面保護工	清掃・洗浄	高圧水洗い	m2	41.8	
			下地処理	部分補修・清掃	m2	41.8	
			表面含浸工	RCGインナーシール同等品	m2	41.8	
		水切工		軟質PVC	m	12.0	
	舗装工						
		橋面舗装打替え工	表層	再生密粒度アスコン(13) 人力舗装	m2	1.3	t=50mm
			路盤	再生粒度調整砕石(RM-30) 人力舗装	m2	1.3	t=30mm
	構造物撤去工						
		構造物取壊し工					
			舗装切断工	15cm以下	m	7.0	
			舗装版破砕工	15cm以下	m2	1.3	
			搬運機	As	m3	0.2	
			処分	As	t	0.5	
	塗替え塗装工						
		防護柵塗替え					
			3種ケレン	白色	m2	5.3	

1. 足場工

1. 補修足場工

仮設参考図より

1) 吊足場 A=	桁高さ1.5m以下	=	26.43 m ²
2) 朝顔 A=	両側朝顔防護足場	=	26.43 m ²

2. 橋梁補修工

2.1 ひびわれ補修工

1) ひびわれ注入工 幅0.2~0.5mm

上部工 L= 2.23

下部工 L= 0.80

上部工計 = 2.2 m
= 2.2 m

下部工計 = 0.8 m
= 0.8 m

合計 = 3.0 m

2) 注入材 w=0.35mm、d=70mm

上部工

・無機系

$W = (0.00035 \times 0.070 \times 2.2 \times 1200) \times 1.15 = 0.088 \text{ kg}$

下部工

・無機系

$W = (0.00035 \times 0.070 \times 0.8 \times 1200) \times 1.15 = 0.032 \text{ kg}$

3) シール材 d=1mm, w=100mm 比重2.0

上部工

$W = 0.10 \times 0.001 \times 2.2 \times 2000 = 0.440 \text{ kg}$

下部工

$W = 0.10 \times 0.001 \times 0.8 \times 2000 = 0.160 \text{ kg}$

4) 注入器具 @250mm

上部工

$N = 2.2 / 0.25 = 9 \text{ 個}$

下部工

$N = 0.8 / 0.25 = 4 \text{ 個}$

2.2 断面修復工(A)

補修図より

- 1) 上部工 下部工
左官工法 t=50mm ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理有

$$V = (8.84 + 1.31) \times 0.05$$

$$\begin{aligned} &= \frac{0.508 \text{ m}^3}{0.508 \text{ m}^3} \\ \text{上部工合計} &= \end{aligned}$$

2.5 表面保護工

補修図より

- 1) 清掃・洗浄

上部工CAD測定

$$\begin{aligned} \text{上流側} \quad A = 3.97 + 0.19 &= 4.2 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{下面} \quad A = 32.0 &= 32.0 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{下流側} \quad A = 3.92 + 0.43 &= 4.4 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{横桁} \quad A = (1.50 \times 0.40 - 0.10 \times 0.10) \times 2 &= \frac{1.2 \text{ m}^2}{41.8 \text{ m}^2} \end{aligned}$$

- 2) 下地処理

$$\begin{aligned} A = 1) \text{より} &= 41.8 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

- 3) 表面被覆工 含浸材塗布工(RCGインナーシール同等品)

$$\begin{aligned} A = 1) \text{より} &= 41.8 \text{ m}^2 \end{aligned}$$

2.6 水切工

軟質PVC

$$\begin{aligned} \text{上流側} \quad L = 5.6 &= 5.6 \text{ m} \end{aligned}$$

$$\begin{aligned} \text{下流側} \quad L = 6.4 &= 6.4 \text{ m} \end{aligned}$$

$$\underline{\underline{12.0 \text{ m}}}$$

3. 舗装工

3.1 橋面舗装打替工(アスファルト舗装)

補修図より

1) 表層	人力	再生密粒度アスコン(13)	t=50mm		
A=	1.25			=	1.3 m ²
2) 路盤	人力	再生粒度調整碎石(RM-30)	t=30mm		
A=	1.25			=	1.3 m ²

4. 構造物撤去工

4.1 構造物取壊し工

補修図より

1) 舗装切断工		15cm以下			
L=	2.50+0.50+0.50			=	7.0 m
2) 舗装破碎工		As舗装15cm以下			
A=	1.25			=	1.3 m ²
3) 殻運搬	As				
殻処理					
V=	1.25×0.15			=	0.2 m ³
W=	0.2×2.3			=	0.5 t

5. 塗替え塗装工

5.1 防護柵

補修図より

L=	1:5.50×2段+h:0.67×4本+0.50=14.18m(片側)				
	14.18×2(両側)=28.36m				
A=	径0.06×π×28.36=5.34			=	5.3 m ²

1. 足場工

1. 補修足場工

仮設参考図より

吊足場、朝顔は塗膜剥離剤を使用するために板張り防護、防炎シートおよび剥離剤養生シートを設置する。

1) 吊足場 A=	桁高さ1.5m以下	=	64.61 m ²
2) 朝顔 A=	両側朝顔防護足場	=	64.61 m ²

2. 橋梁補修工

2.1 ひびわれ補修工

1) ひびわれ注复工 幅0.2~0.5mm

上部工 L= 13.40

上部工計 = 13.4 m
= 13.4 m

下部工 L=

下部工計 = - m
= - m

上部工合計 = 13.4 m

下部工合計 = - m

2) 注入材 w=0.35mm、d=70mm

上部工

・無機系

$W = (0.00035 \times 0.070 \times 13.4 \times 1200) \times 1.15 = 0.453 \text{ kg}$

3) シール材 d=1mm, w=100mm 比重2.0

上部工

$W = 0.10 \times 0.001 \times 13.4 \times 2000 = 2.680 \text{ kg}$

下部工

W= = - kg

4) 注入器具 @250mm

上部工

$N = 13.4 / 0.25 = 54 \text{ 個}$

下部工

N= = - 個

2.2 断面修復工(A)

補修図より

- 1) 上部工
左官工法 t=50mm ポリマーセメントモルタル 鉄筋ケレン・防錆処理有

$$V = 2.02 \times 0.05$$

$$\begin{array}{r} \text{上部工合計} \\ \hline \end{array} \begin{array}{r} = \\ = \end{array} \begin{array}{r} 0.101 \text{ m}^3 \\ 0.101 \text{ m}^3 \end{array}$$

2.3 断面修復工(B)

補修図より

- 1) 下部工 橋台

$$V = 0.2 \times 0.05$$

$$\begin{array}{r} \\ \hline \end{array} \begin{array}{r} = \\ = \end{array} \begin{array}{r} 0.010 \text{ m}^3 \\ 0.010 \text{ m}^3 \end{array}$$

2.4 表面保護工

補修図より

- 1) 清掃・洗浄

$$\begin{array}{l} \text{上流側地覆} \\ \text{A= CAD求積より} \end{array} \begin{array}{r} = \\ = \end{array} \begin{array}{r} 24.0 \text{ m}^2 \\ 69.7 \text{ m}^2 \end{array}$$

$$\begin{array}{l} \text{床版下面} \\ \text{A= CAD求積より} \end{array} \begin{array}{r} = \\ = \end{array} \begin{array}{r} 69.7 \text{ m}^2 \\ 10.7 \text{ m}^2 \end{array}$$

$$\begin{array}{l} \text{下流側地覆} \\ \text{A= CAD求積より} \end{array} \begin{array}{r} = \\ \hline \end{array} \begin{array}{r} 10.7 \text{ m}^2 \\ 104.4 \text{ m}^2 \end{array}$$

- 2) 下地処理

$$\begin{array}{l} \text{A=} \\ \text{1)より} \end{array} \begin{array}{r} = \\ \hline \end{array} \begin{array}{r} 104.4 \text{ m}^2 \end{array}$$

- 3) 表面含浸工 含浸材塗布工(RCGインナーシール同等品)

$$\begin{array}{l} \text{A=} \\ \text{1)より} \end{array} \begin{array}{r} = \\ \hline \end{array} \begin{array}{r} 104.4 \text{ m}^2 \end{array}$$

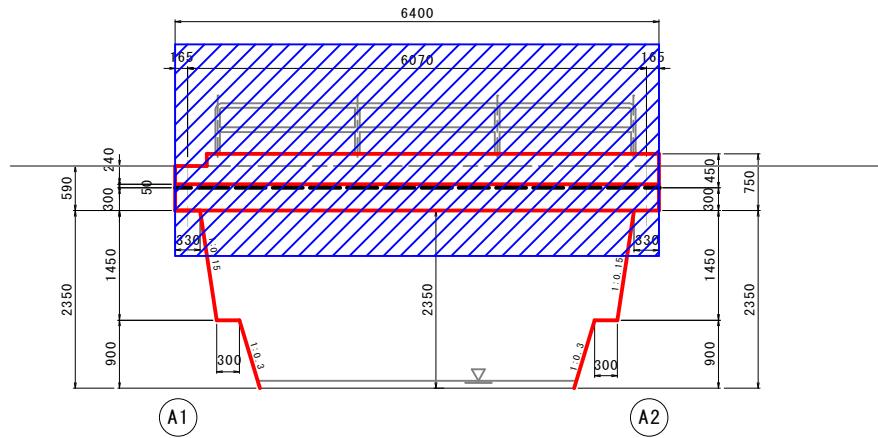
2.5 塗装塗替え工 RC-III 塗膜剥離剤使用

主桁G:	$A = 0.45 \times 10.80 \times 2 + 0.20 \times 10.80$	=	11.9 m ²
横桁控除	$A = 0.25 \times 0.09 \times 2 + 0.20 \times 0.09$	=	-0.1 m ²
接地部控除	$A = 0.20 \times 0.20 \times 2$	=	-0.1 m ²
			<hr/> 11.7 m ²
主桁G:	$A = 0.45 \times 10.80 \times 2 + 0.20 \times 10.80$	=	11.9 m ²
横桁控除	$A = 0.25 \times 0.09 \times 2 + 0.20 \times 0.09$	=	-0.1 m ²
接地部控除	$A = 0.20 \times 0.20 \times 2$	=	-0.1 m ²
			<hr/> 11.7 m ²
横桁	$A = 0.25 \times 1.478 \times 2 \times 2 + 0.20 \times 1.478 \times 2 + 0.09 \times 1.30 \times 3$	=	2.4 m ²
合計	$A = 11.7 + 11.7 + 2.4$	=	25.8 m ²

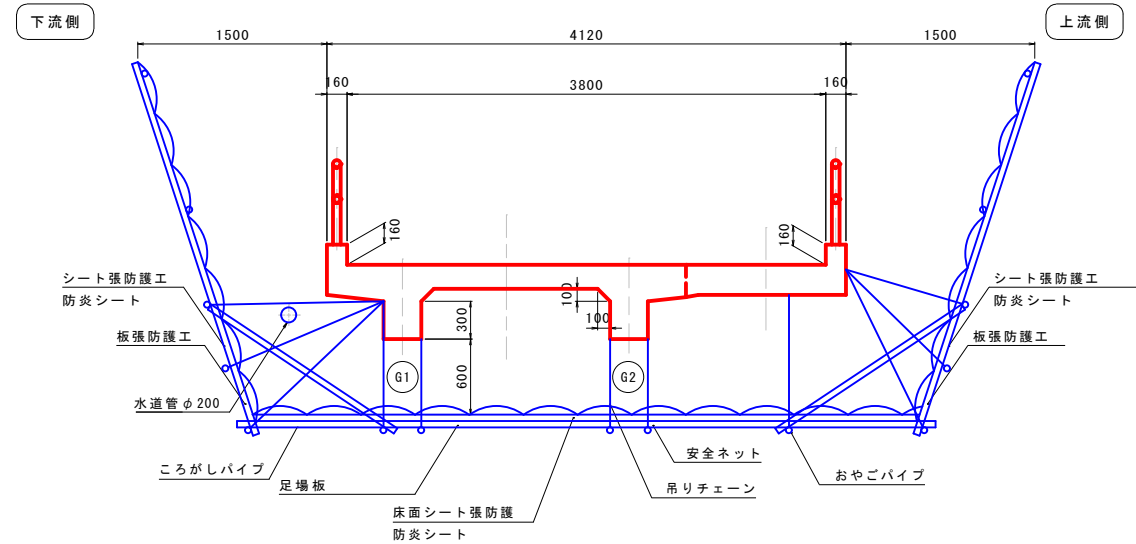
図面番号	1-6	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事		
種別	田野浦3号線1号橋梁 仮設足場図(参考図)	番号	
路線 河川名	市道 田野浦3号線		
工事箇所	三原市 田野浦二丁目		
三原市			

仮設足場図(参考図)

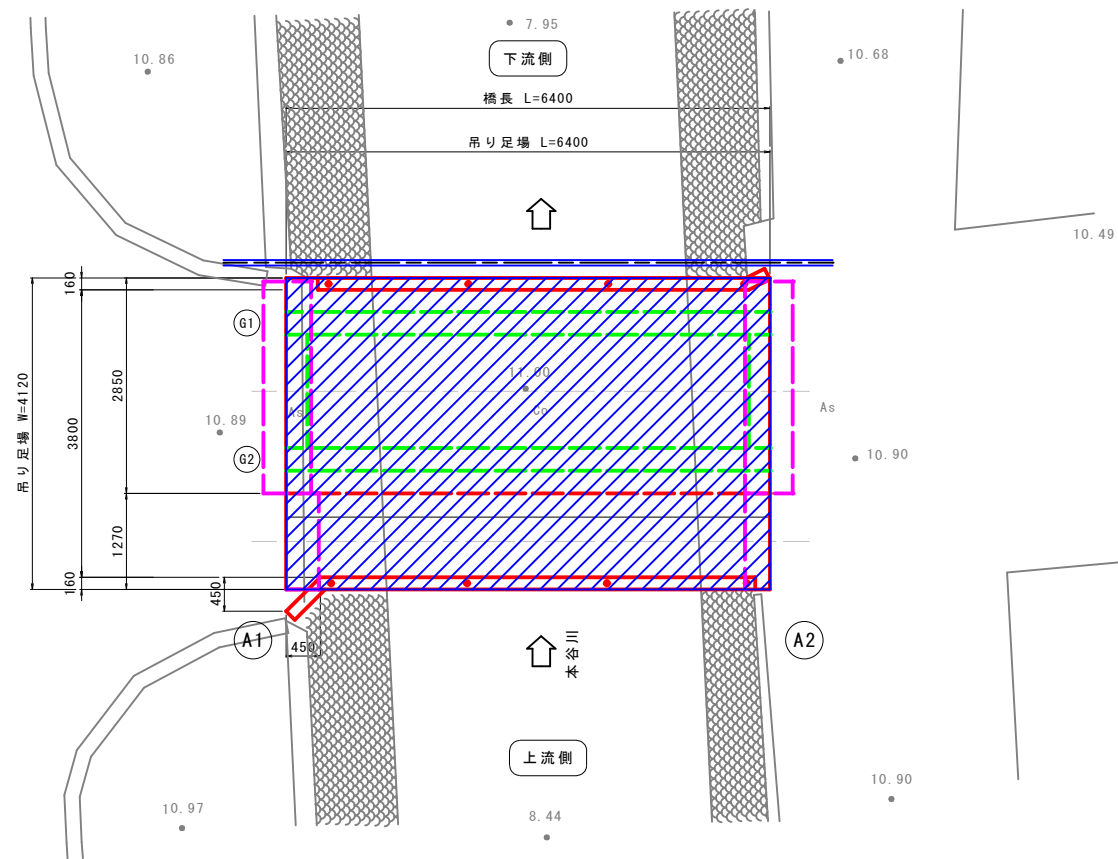
側面図 S=1:50



標準断面図 S=1:30



平面図 S=1:50



仮設足場数量表

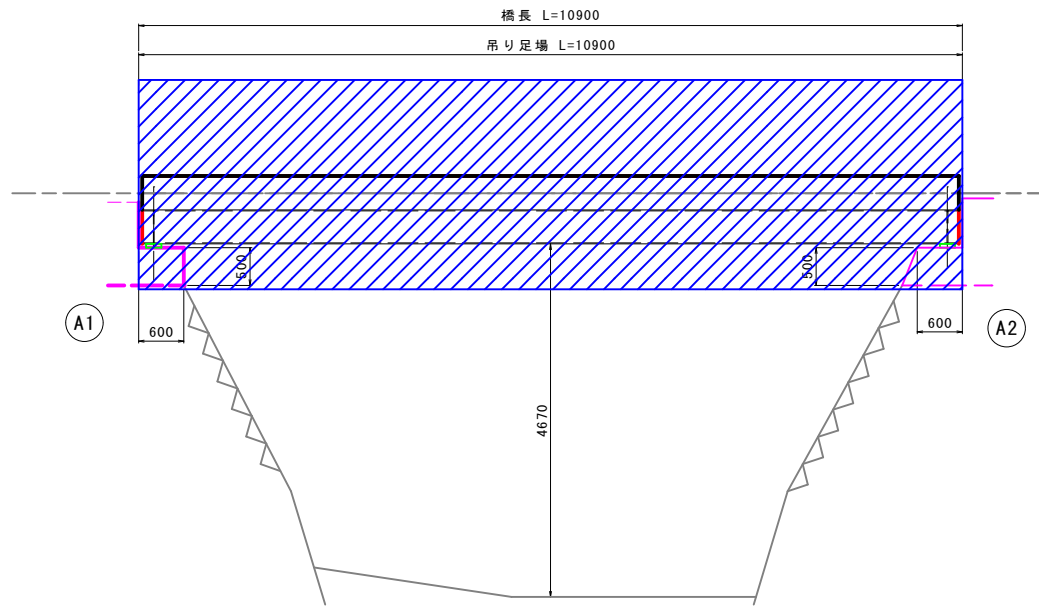
種類		寸法 (m) 全幅員(地覆外縁間距離)×橋長又は必要長	面積 (m ²)
TYPEA1	吊り足場(桁高h<1.5m)	4.12×6.40	26.37
床面シート張防護設置		"	26.37
TYPEB	朝顔	"	26.37
	板張防護工	"	26.37
	シート張防護工	"	26.37

※積算条件は「橋梁架設工事の積算」(一般社団法人 日本建設機械施工協会)を参照

図面番号	2-7	縮尺	図示
工種	橋梁補修工事		
種別	小泉11号線 1号橋梁 仮設足場図(参考図)	番号	
路線名	市道 小泉11号線		
工事箇所	三原市 小泉町		
三原市			

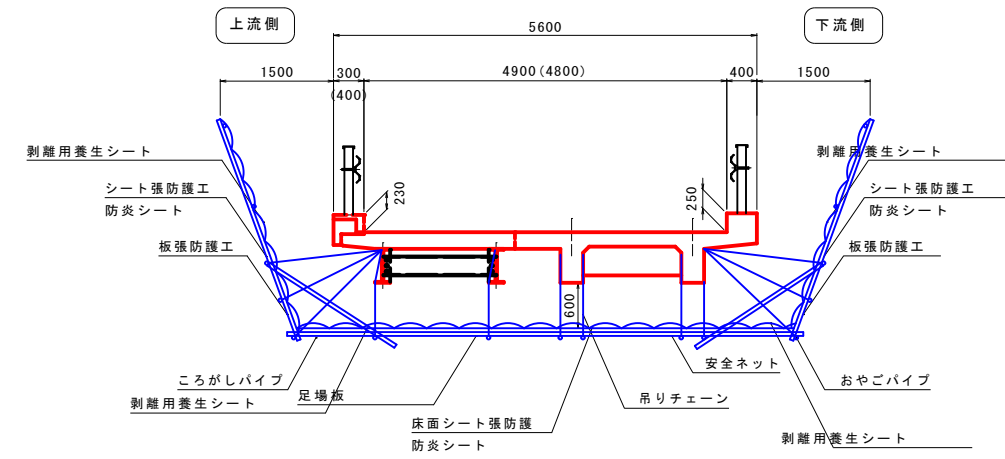
仮設足場図(参考図)

側面図 S=1:50



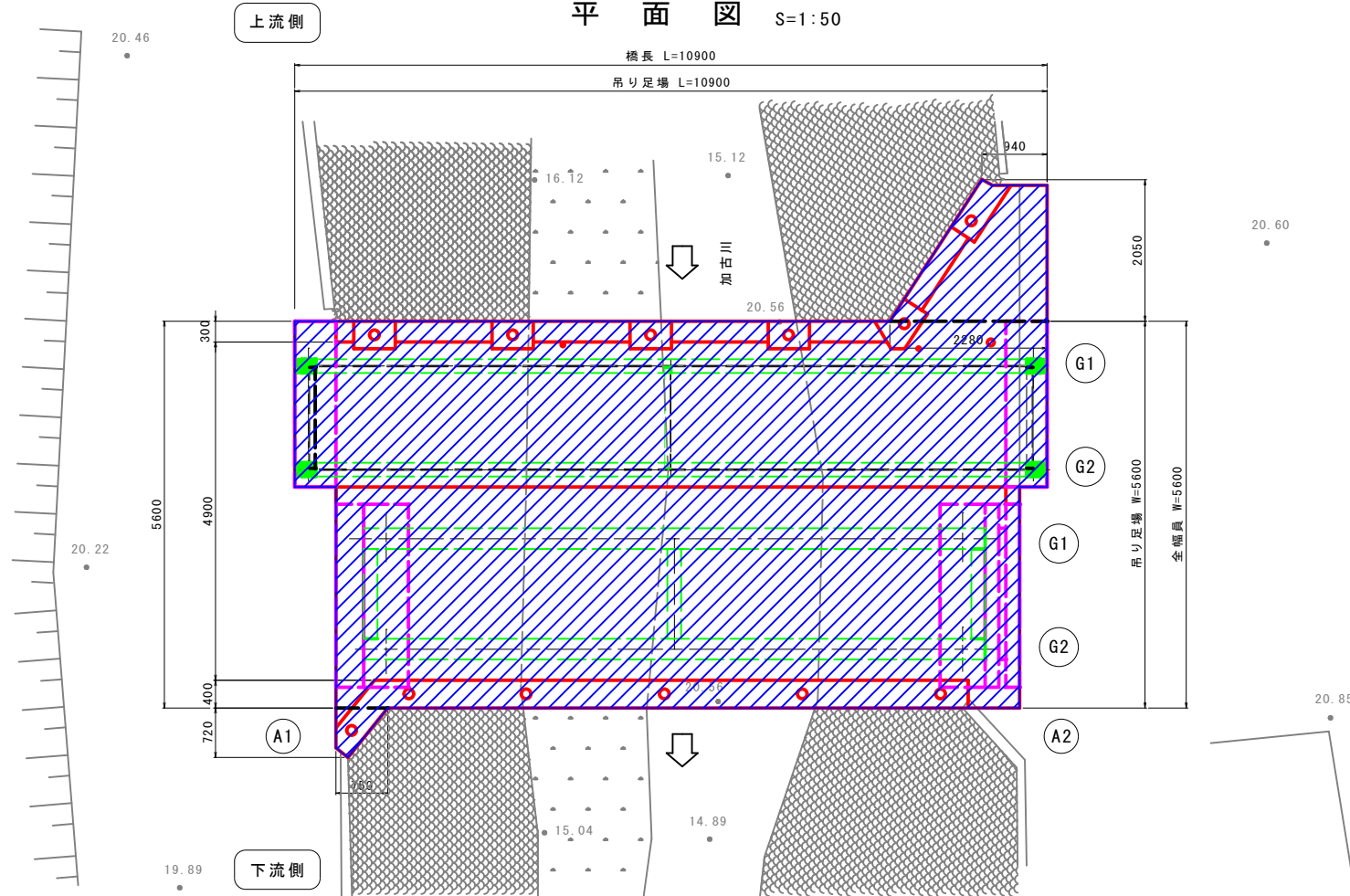
標準断面図 S=1:50

(湿式塗膜剥離剤工用養生設備工含む)



※形状寸法における()はA2側支点部の値を表わす。

平面図 S=1:50



仮設足場数量表

種類		寸法 (m) 全幅員(地覆外縁間距離)×橋長又は必要長	面積 (m ²)
TYPEA1	吊り足場(桁高h<1.5m)	$(5.60 \times 10.90) + (0.75 \times 0.72/2) + ((0.94+2.28) \times 2.05/2)$	64.61
床面シート張防護設置		"	64.61
TYPEB	朝顔	"	64.61
	板張防護工	"	64.61
	シート張防護工	"	64.61
湿式塗膜剥離剤工用養生設備工		"	64.61
エアブラスト(加圧式)工法		"	64.61

※積算条件は「橋梁架設工事の積算」(一般社団法人 日本建設機械施工協会)を参照

位置図

